

## 4. がんについて

静岡市では、「第1期 静岡市がん対策推進計画」に基づき、がん対策を進めています。  
静岡市のがんに関する現状と課題などを把握するため、皆さまのご意見をお伺いします。

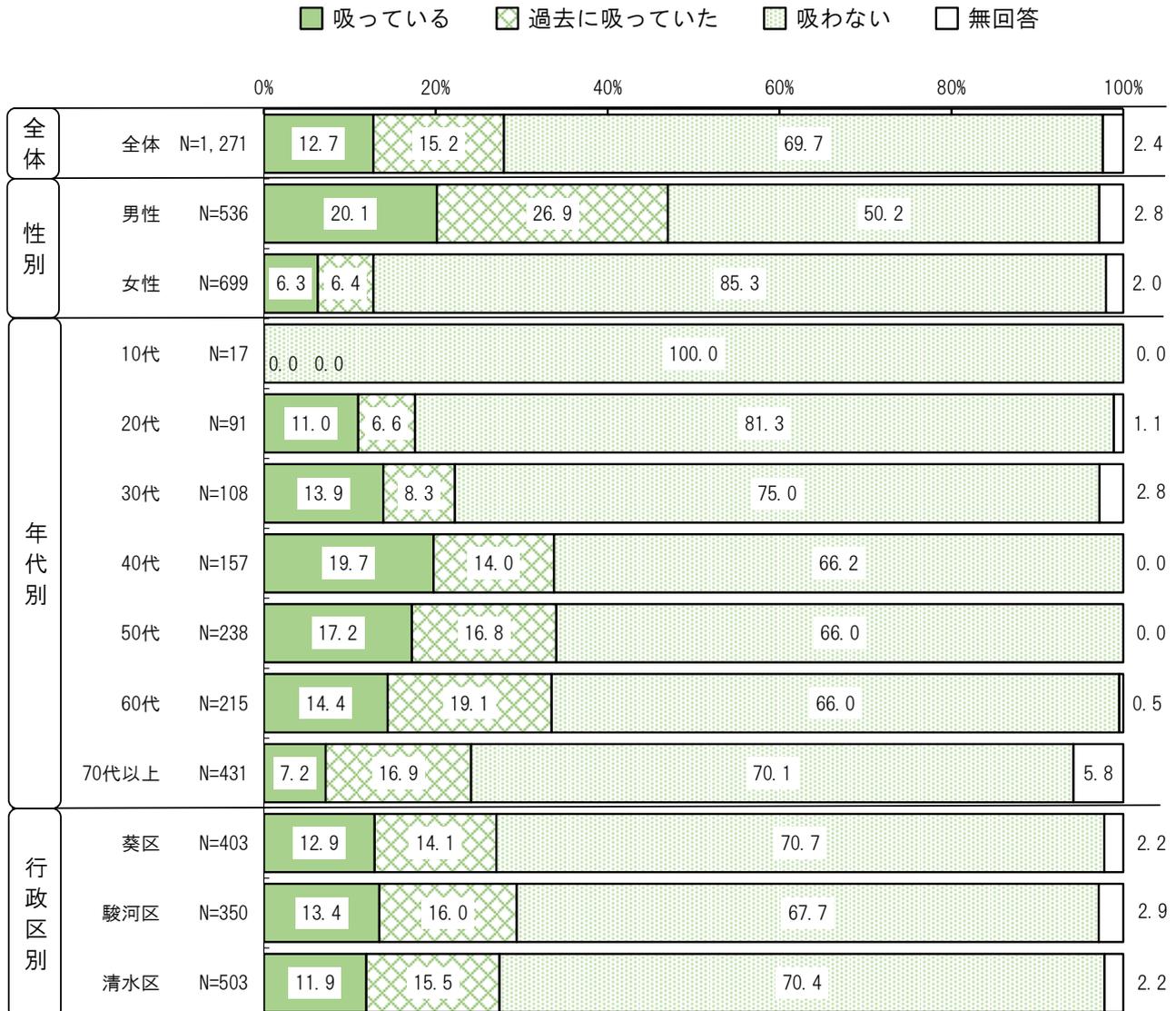
1	喫煙状況	58
1-1	喫煙期間と1日の喫煙本数	59
2	過去1年間の受動喫煙の有無	61
3	飲酒頻度	62
3-1	1日の飲酒量	63
4	生活習慣病の予防や改善のために実践していること	64
5	健康のために必要とわかっていても実践できないこと	66
6	2年以内のがん検診の受診状況	68
6-1	がん検診を受診しない理由	69
7	無料で利用できる相談窓口として知っているもの	71
8	あなたもしくは家族などの身近な人が、がんにかかったことがあるか	73
8-1	利用したことがある相談先	74
8-2	がん相談支援センターを利用しなかった理由	76
8-3	がんに関する情報を集めるために行ったこと	78
8-4	利用したウェブサイト	80
8-5	がんと診断された方の働き方や学び方にあつた変化	82
9	2週間に一度程度病院に通う必要がある場合、働き続けられると思うか	84
9-1	働き続けられると思う理由	85
9-2	働き続けられると思わない理由	87
10	がん医療における緩和ケアについて知っていること	89
11	がんについて知っていること	91
12	市民が積極的にがん対策に取り組むために市が力を入れたらよいと思うこと	93

## 4. がんについて

問1 たばこ(紙巻たばこ、加熱式たばこ、電子たばこを含む)を吸いますか。  
(○は1つ)

喫煙状況については、「吸わない」69.7%、「過去に吸っていた」15.2%、「吸っている」12.7%となっています。

また、『喫煙経験あり』（「吸っている」+「過去に吸っていた」）は27.9%となっています。



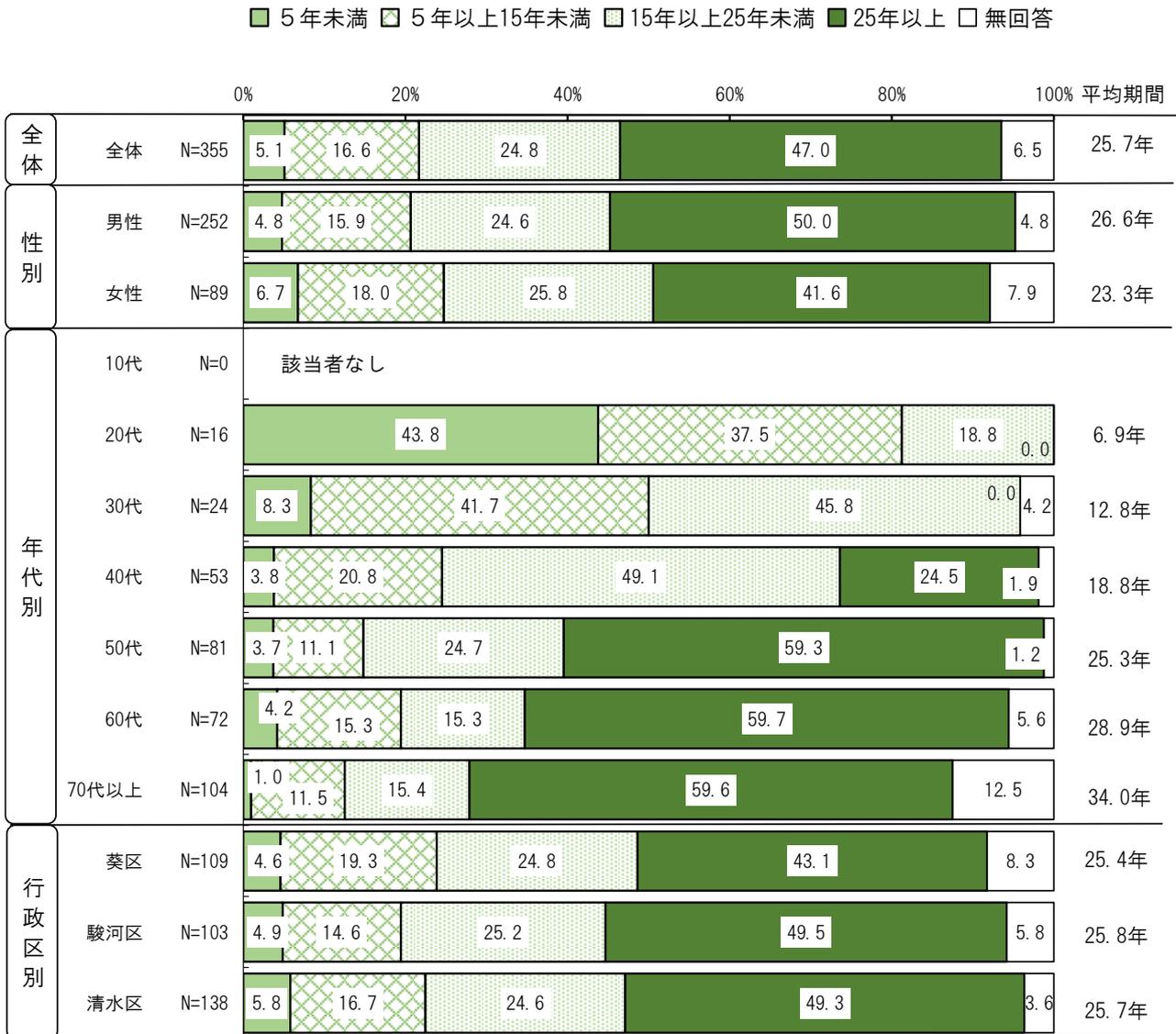
性別でみると、「吸わない」は男性50.2%、女性85.3%となっています。『喫煙経験あり』（「吸っている」+「過去に吸っていた」）は男性47.0%、女性12.7%となっています。

年代別でみると、「吸わない」は10代100.0%、20代81.3%、30代75.0%の順になっています。『喫煙経験あり』は50代34.0%、40代33.7%、60代33.5%の順になっています。

行政区別でみると、「吸わない」は葵区70.7%、清水区70.4%、駿河区67.7%の順になっています。『喫煙経験あり』は駿河区29.4%、清水区27.4%、葵区27.0%の順になっています。

問1で「1 吸っている」、「2 過去に吸っていた」と回答した方にお聞きします。  
 問1-1 たばこを吸っている（吸っていた）期間を教えてください。

『喫煙経験あり』（「吸っている」＋「過去に吸っていた」）の方の喫煙期間については、「25年以上」47.0%と最も多く、次いで「15年以上25年未満」24.8%、「5年以上15年未満」16.6%となっています。  
 また、たばこを吸っている（吸っていた）平均期間は25.7年となっています。



性別でみると、たばこを吸っている（吸っていた）平均期間は男性26.6年、女性23.3年となっています。

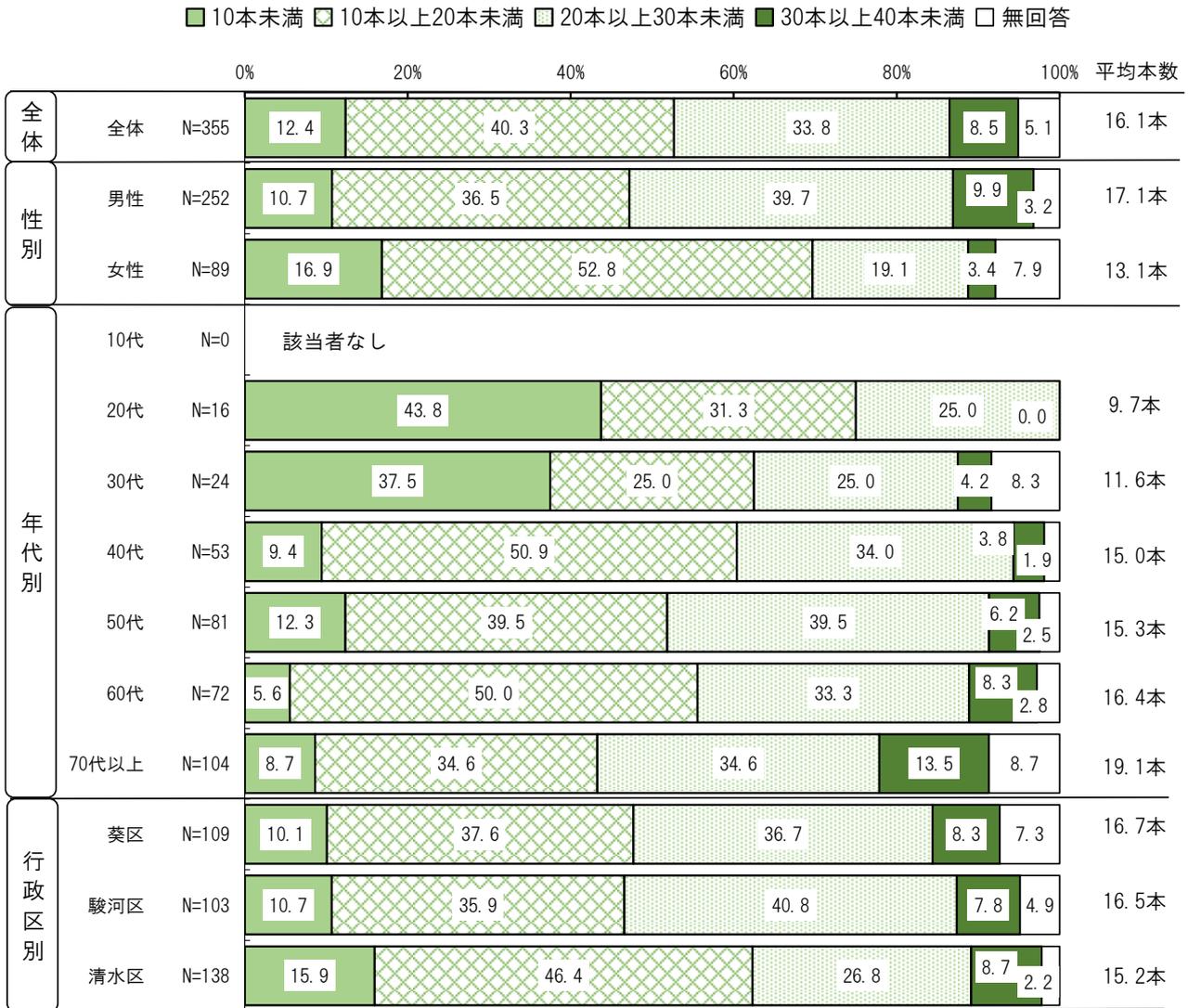
年代別でみると、たばこを吸っている（吸っていた）平均期間は70代以上34.0年、60代28.9年、50代25.3年の順になっています。

行政区別でみると、たばこを吸っている（吸っていた）平均期間は駿河区25.8年、清水区25.7年、葵区25.4年の順になっています。

問1で「1 吸っている」、「2 過去に吸っていた」と回答した方にお聞きます。  
 問1-1 たばこを吸っている（吸っていた）1日の本数を教えてください。

『喫煙経験あり』（「吸っている」+「過去に吸っていた」）の方の1日の喫煙本数については、「10本以上20本未満」40.3%と最も多く、次いで「20本以上30本未満」33.8%、「10本未満」12.4%となっています。

また、たばこを吸っている（吸っていた）方の1日の平均喫煙本数は16.1本となっています。



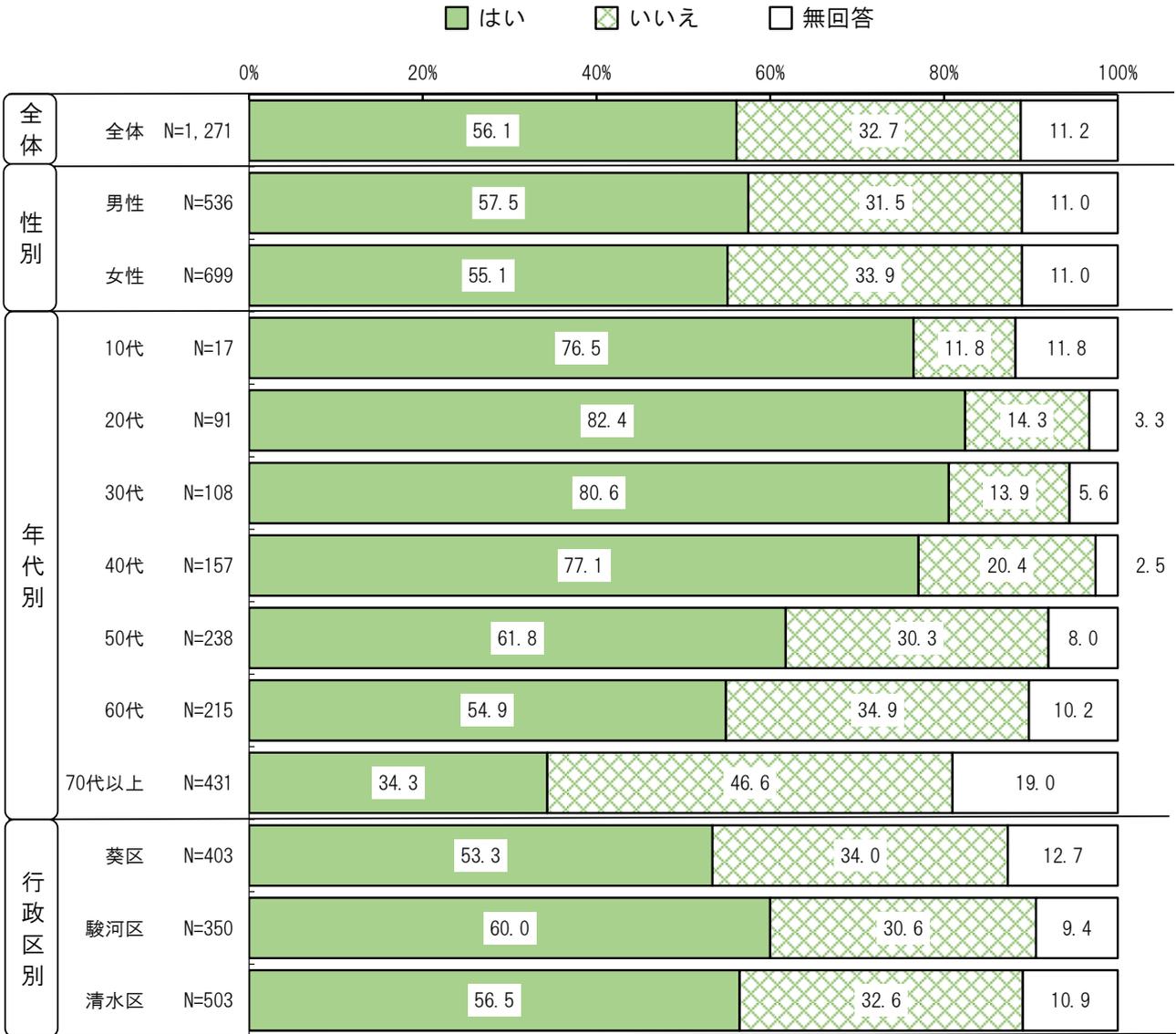
性別でみると、たばこを吸っている（吸っていた）方の1日の平均喫煙本数は男性17.1本、女性13.1本となっています。

年代別でみると、たばこを吸っている（吸っていた）方の1日の平均喫煙本数は70代以上19.1本、60代16.4本、50代15.3本の順になっています。

行政区別でみると、たばこを吸っている（吸っていた）方の平均喫煙本数は葵区16.7本、駿河区16.5本、清水区15.2本の順になっています。

問2 過去1年間で受動喫煙※（他人のたばこの煙を吸い込むこと）にあいましたか。  
 (○は1つ)  
 ※受動喫煙にあった場面は、どのような場所でも構いません（自宅で家族が吸っていた、路上で喫煙している人とすれ違った等）

過去1年間の受動喫煙の有無については、「はい」56.1%、「いいえ」32.7%となっています。



性別でみると、「はい」は男性57.5%、女性55.1%となっています。「いいえ」は男性31.5%、女性33.9%となっています。

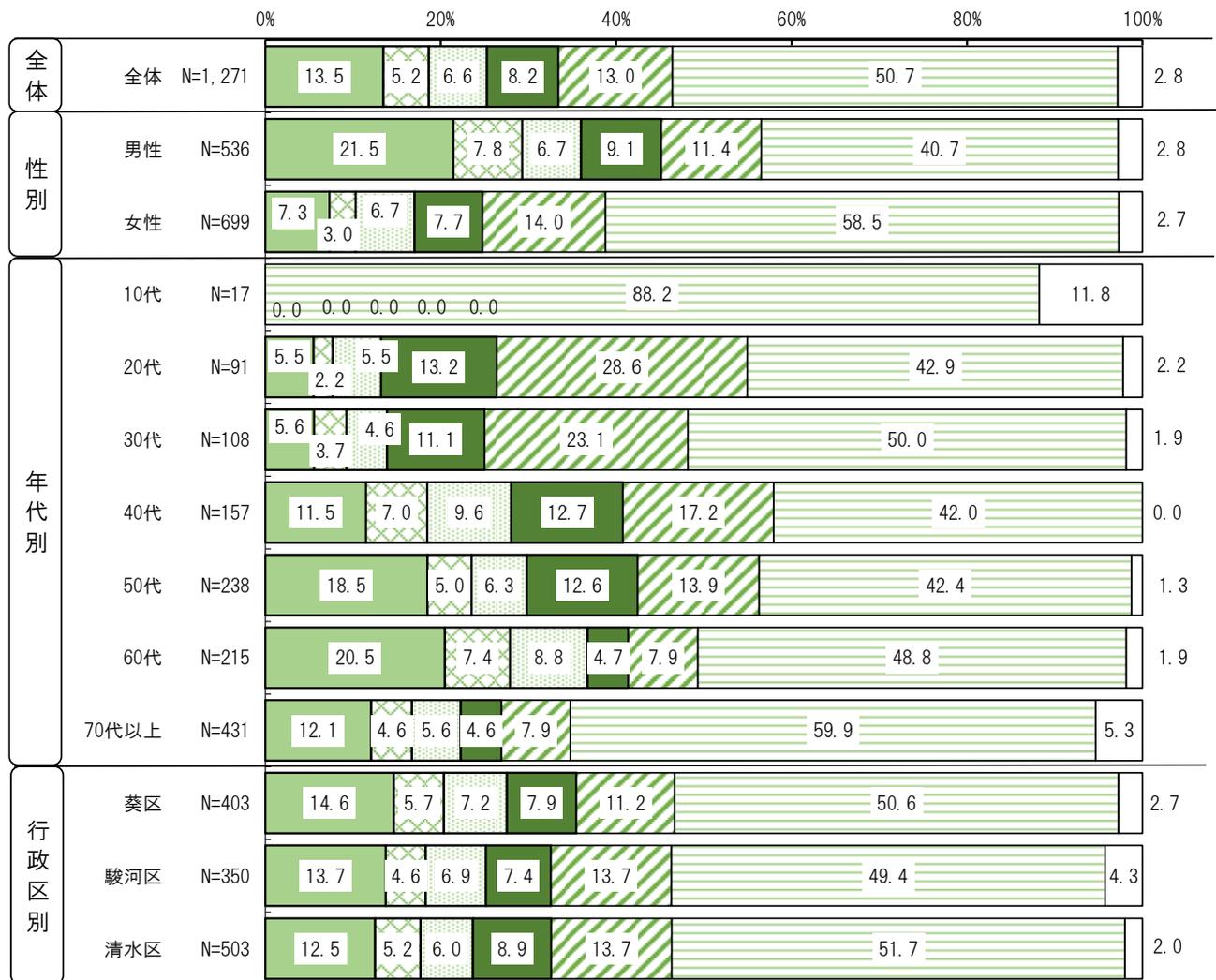
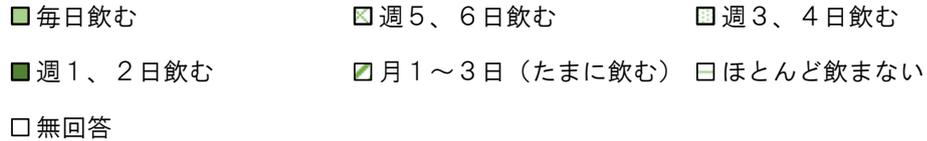
年代別でみると、「はい」は20代82.4%、30代80.6%、40代77.1%の順になっています。「いいえ」は70代以上46.6%、60代34.9%、50代30.3%の順になっています。

行政区別でみると、「はい」は駿河区60.0%、清水区56.5%、葵区53.3%の順になっています。「いいえ」は葵区34.0%、清水区32.6%、駿河区30.6%の順になっています。

問3 お酒、ビールなどのアルコールを飲みますか。  
(○は1つ)

飲酒頻度については、「ほとんど飲まない」50.7%と最も多く、次いで「毎日飲む」13.5%、「月1～3日（たまに飲む）」13.0%となっています。

また、『飲酒頻度が週3日以上』（「毎日飲む」+「週5、6日飲む」+「週3、4日飲む」）は25.3%となっています。



性別でみると、「ほとんど飲まない」は男性40.7%、女性58.5%となっています。『飲酒頻度が週3日以上』（「毎日飲む」+「週5、6日飲む」+「週3、4日飲む」）は男性36.0%、女性17.0%となっています。

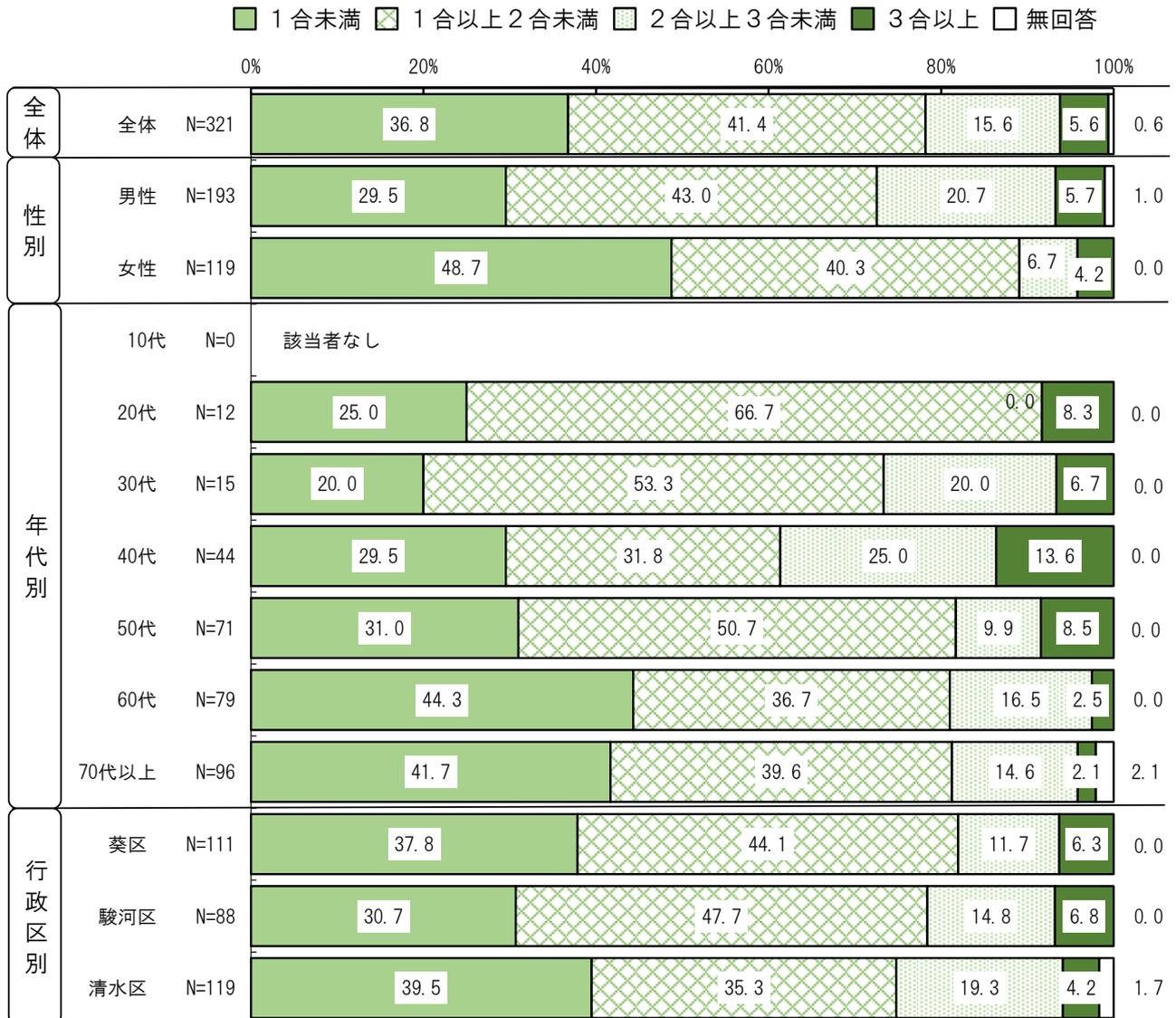
年代別でみると、「ほとんど飲まない」は10代88.2%、70代以上59.9%、30代50.0%の順になっています。『飲酒頻度が週3日以上』は60代36.7%、50代29.8%、40代28.1%の順になっています。

行政区別でみると、「ほとんど飲まない」は清水区51.7%、葵区50.6%、駿河区49.4%の順になっています。『飲酒頻度が週3日以上』は葵区27.5%、駿河区25.2%、清水区23.7%の順になっています。

問3で「1 毎日飲む」「2 週5、6日飲む」「3 週3、4日飲む」と答えた方にお聞きします。

問3-1 1日に飲むアルコールの分量は、日本酒に換算すると平均どの程度ですか。  
 (○は1つ)  
 (日本酒1合=ビール500ml/焼酎0.5合/ウイスキーダブル1杯/ワイングラス2杯)

『飲酒頻度が週3日以上』（「毎日飲む」+「週5、6日飲む」+「週3、4日飲む」）と回答した方の飲酒量については、「1合以上2合未満」41.4%と最も多く、次いで「1合未満」36.8%、「2合以上3合未満」15.6%となっています。



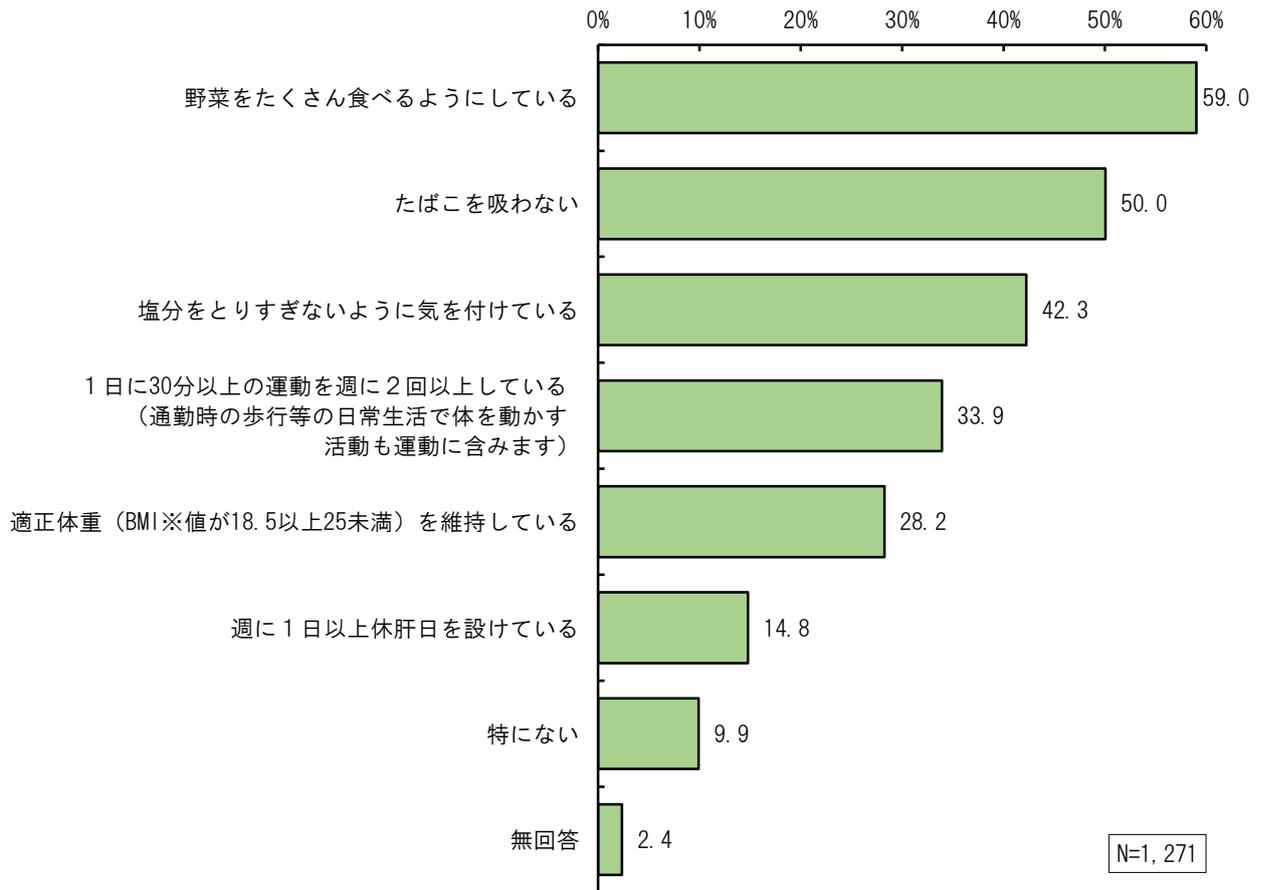
性別でみると、「1合以上2合未満」は男性43.0%、女性40.3%となっています。「1合未満」は男性29.5%、女性48.7%となっています。「2合以上3合未満」は男性20.7%、女性6.7%となっています。

年代別でみると、「1合以上2合未満」は20代66.7%、30代53.3%、50代50.7%の順になっています。「1合未満」は60代44.3%、70代以上41.7%、50代31.0%の順になっています。「2合以上3合未満」は40代25.0%、30代20.0%、60代16.5%の順になっています。

行政区別でみると、「1合以上2合未満」は駿河区47.7%、葵区44.1%、清水区35.3%の順になっています。「1合未満」は清水区39.5%、葵区37.8%、駿河区30.7%の順になっています。「2合以上3合未満」は清水区19.3%、駿河区14.8%、葵区11.7%の順になっています。

問4 生活習慣病の予防や改善のために、実践していることを教えてください。  
 (〇はいくつでも)

生活習慣病の予防や改善のために、実践していることについては、「野菜をたくさん食べるようにしている」59.0%と最も多く、次いで「たばこを吸わない」50.0%、「塩分をとりすぎないように気を付けている」42.3%、「1日に30分以上の運動を週に2回以上している（通勤時の歩行等の日常生活で体を動かす活動も運動に含みます）」33.9%、「適正体重（BMI※値が18.5以上25未満）を維持している」28.2%、「週に1日以上休肝日を設けている」14.8%となっています。  
 また、「特にない」9.9%となっています。



※BMI（体格指数）は体重（kg）÷身長（m）÷身長（m）で計算します。  
 例）身長160cm、体重60kgの場合 → 60÷1.6÷1.6=23.4

Ⅱ 調査結果【4. がんについて】

単位：（％）

		調査数（人）	野菜をたくさん食べるようにしている	たばこを吸わない	塩分をとりすぎないように気を付けている	1日に30分以上の運動（通勤時歩行等）に含みます	適正体重（BMI※値が18.5以上25未満）を維持している	週に1日以上休肝日を設定している	特にない	無回答
全体		1,271	59.0	50.0	42.3	33.9	28.2	14.8	9.9	2.4
性別	男性	536	51.7	50.6	34.0	35.4	26.7	17.0	11.6	2.6
	女性	699	65.1	50.8	48.8	33.3	29.8	13.7	8.0	2.0
年代別	10代	17	41.2	58.8	0.0	23.5	17.6	0.0	23.5	5.9
	20代	91	41.8	61.5	25.3	29.7	34.1	17.6	9.9	1.1
	30代	108	45.4	62.0	16.7	22.2	20.4	18.5	16.7	1.9
	40代	157	56.1	54.8	29.9	26.1	28.0	21.7	8.9	0.6
	50代	238	59.7	47.9	34.0	28.6	30.3	15.1	10.9	0.4
	60代	215	66.0	51.2	52.6	38.1	37.7	15.3	10.7	1.4
	70代以上	431	64.0	43.6	57.3	42.5	24.1	11.4	6.7	4.9
行政区別	葵区	403	57.3	50.1	40.7	35.2	29.8	14.4	10.2	1.7
	駿河区	350	54.9	49.1	44.0	34.9	29.4	12.0	9.7	3.7
	清水区	503	63.4	50.7	41.9	32.6	26.4	17.3	9.7	1.8

性別でみると、「野菜をたくさん食べるようにしている」は男性51.7%、女性65.1%となっています。「たばこを吸わない」は男性50.6%、女性50.8%となっています。「塩分をとりすぎないように気を付けている」は男性34.0%、女性48.8%となっています。

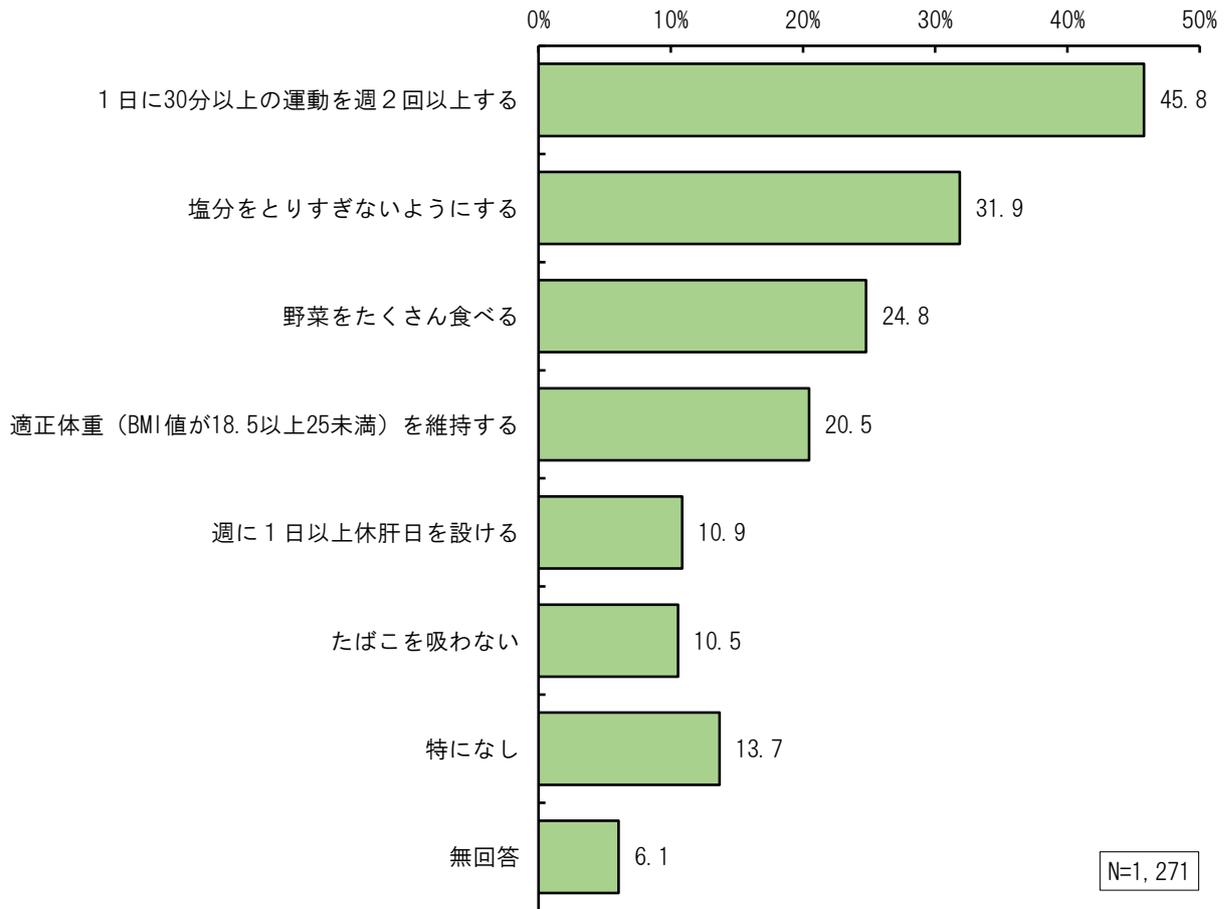
年代別でみると、「野菜をたくさん食べるようにしている」は60代66.0%、70代以上64.0%、50代59.7%の順になっています。「たばこを吸わない」は30代62.0%、20代61.5%、10代58.8%の順になっています。「塩分をとりすぎないように気を付けている」は70代以上57.3%、60代52.6%、50代34.0%の順になっています。

行政区別でみると、「野菜をたくさん食べるようにしている」は清水区63.4%、葵区57.3%、駿河区54.9%の順になっています。「たばこを吸わない」は清水区50.7%、葵区50.1%、駿河区49.1%の順になっています。

問5 健康のために必要とわかっているにもかかわらず、なかなか実践できないことを教えてください。  
(〇はいくつでも)

健康のために必要とわかっているにもかかわらず実践できないことについては、「1日に30分以上の運動を週2回以上する」45.8%と最も多く、次いで「塩分をとりすぎないようにする」31.9%、「野菜をたくさん食べる」24.8%、「適正体重（BMI値が18.5以上25未満）を維持する」20.5%、「週に1日以上休肝日を設ける」10.9%、「たばこを吸わない」10.5%となっています。

また、「特になし」13.7%となっています。



Ⅱ 調査結果【4. がんについて】

単位：（％）

		調査数（人）	1日に30分以上の運動を週2回以上する	塩分をとりすぎないようにする	野菜をたくさん食べる	適正体重（BMI値が18.5以上25未満）を維持する	週に1日以上休肝日を設ける	たばこを吸わない	特になし	無回答
全体		1,271	45.8	31.9	24.8	20.5	10.9	10.5	13.7	6.1
性別	男性	536	39.7	32.5	26.5	21.3	15.7	14.9	13.2	6.7
	女性	699	50.5	31.6	24.2	19.7	7.2	6.9	13.9	5.3
年代別	10代	17	47.1	41.2	11.8	5.9	11.8	0.0	23.5	5.9
	20代	91	46.2	38.5	33.0	15.4	5.5	7.7	11.0	1.1
	30代	108	63.0	32.4	33.3	25.0	5.6	7.4	10.2	1.9
	40代	157	61.8	36.3	26.1	26.8	12.1	14.6	7.0	1.9
	50代	238	54.6	32.8	23.1	26.9	13.0	14.3	8.8	0.8
	60代	215	39.5	28.4	20.9	15.3	14.9	8.4	18.1	6.0
	70代以上	431	33.6	29.5	23.4	17.4	9.7	9.5	18.1	12.3
行政区別	葵区	403	42.7	28.3	22.8	18.9	11.7	8.7	17.1	5.7
	駿河区	350	42.6	31.7	26.3	19.1	10.0	12.6	14.6	7.1
	清水区	503	50.5	35.0	25.2	22.7	11.1	10.3	10.7	5.2

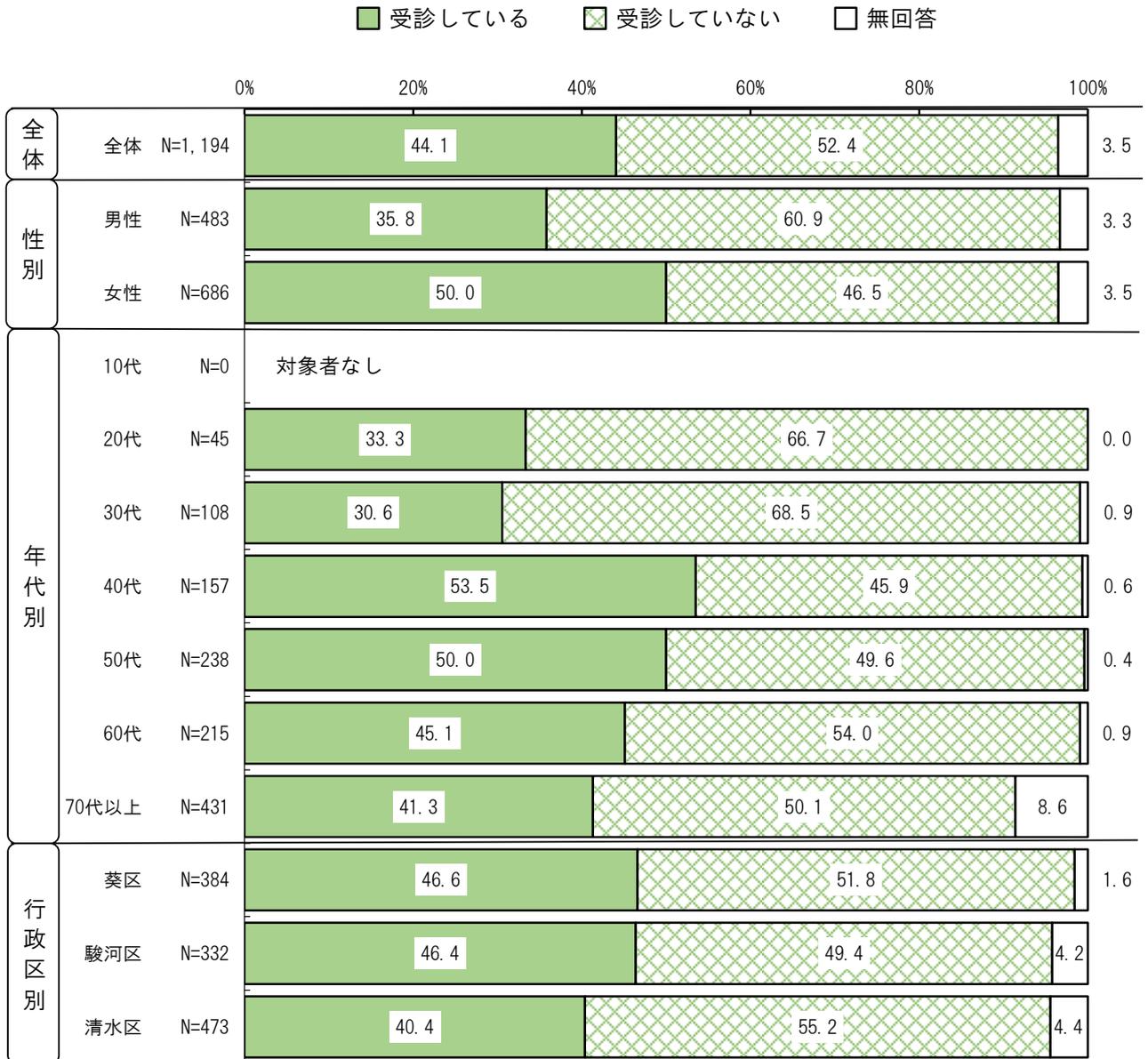
性別でみると、「1日に30分以上の運動を週2回以上する」は男性39.7%、女性50.5%となっています。「塩分をとりすぎないようにする」は男性32.5%、女性31.6%となっています。「野菜をたくさん食べる」は男性26.5%、女性24.2%となっています。

年代別でみると、「1日に30分以上の運動を週2回以上する」は30代63.0%、40代61.8%、50代54.6%の順になっています。「塩分をとりすぎないようにする」は10代41.2%、20代38.5%、40代36.3%の順になっています。「野菜をたくさん食べる」は30代33.3%、20代33.0%、40代26.1%の順になっています。

行政区別でみると、「1日に30分以上の運動を週2回以上する」は清水区50.5%、葵区42.7%、駿河区42.6%の順になっています。「塩分をとりすぎないようにする」は清水区35.0%、駿河区31.7%、葵区28.3%の順になっています。

問6 2年以内のがん検診を受診していますか。がんの種類は問いません。  
(○は1つ)

2年以内のがん検診の受診状況については、「受診している」44.1%、「受診していない」52.4%となっています。



※がん検診受診対象者の20代女性、30代以上を母数として集計しています。  
(10代、20代女性以外、年代無回答を除いて集計しています)

性別でみると、男性と女性では順位が異なり、男性は「受診していない」60.9%、「受診している」35.8%の順になっています。女性は「受診している」50.0%、「受診していない」46.5%の順になっています。

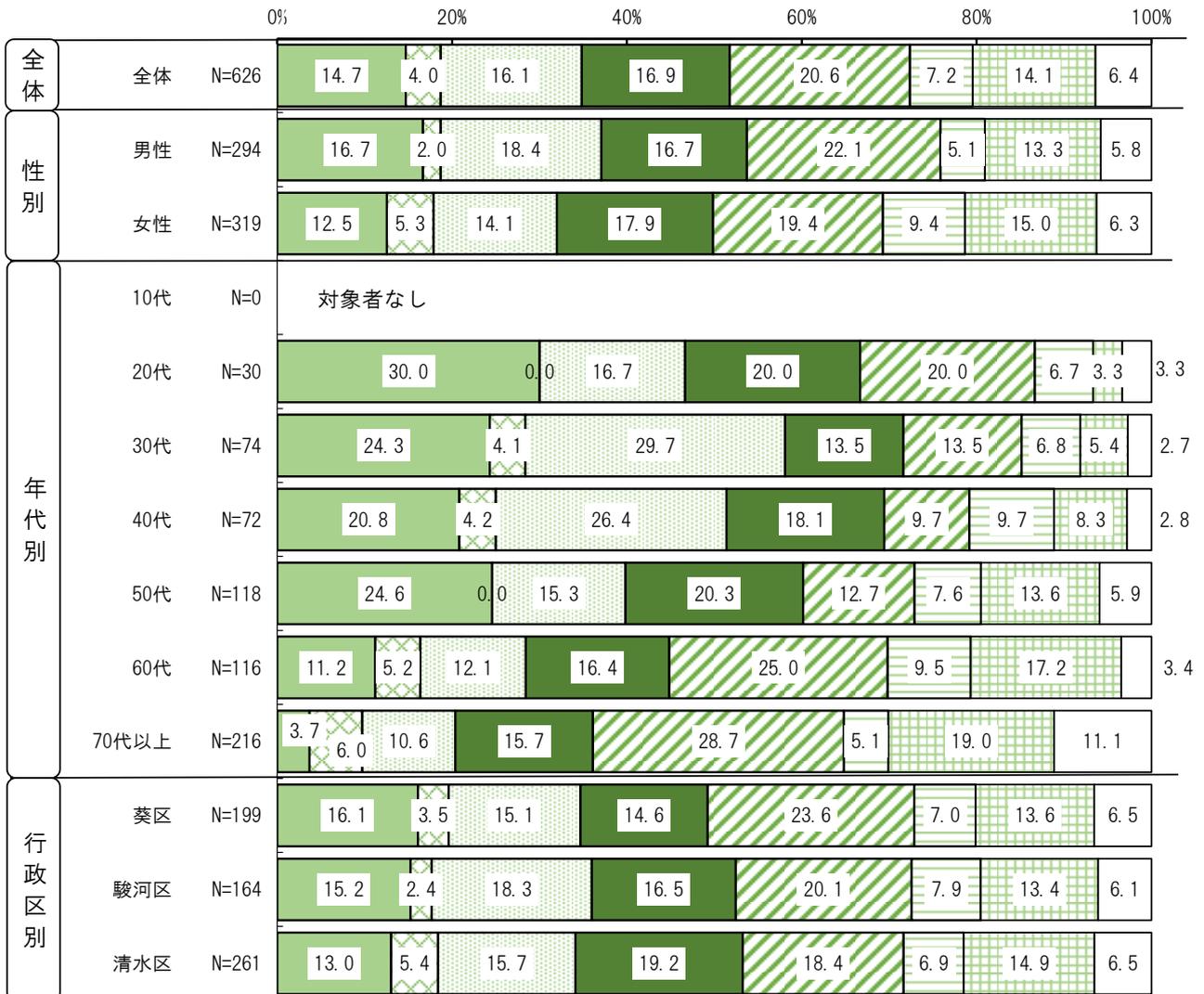
年代別でみると、「受診している」は40代53.5%、50代50.0%、60代45.1%の順になっています。「受診していない」は30代68.5%、20代66.7%、60代54.0%の順になっています。

行政区別でみると、「受診している」は葵区46.6%、駿河区46.4%、清水区40.4%の順になっています。「受診していない」は清水区55.2%、葵区51.8%、駿河区49.4%の順になっています。

問6で「2 受診していない」と回答した方にお聞きします。  
 問6-1 がん検診を受診しない理由は何ですか。(○は1つ)

がん検診を受診しない理由については、「健康なので受診する必要性を感じない」20.6%と最も多く、次いで「面倒くさい」16.9%、「検診費用が高い」16.1%、「受診する時間がない」14.7%、「受診するのを忘れていた」7.2%となっています。

- 受診する時間がない
- 検診費用が高い
- 健康なので受診する必要性を感じない
- その他
- 医療機関が自宅から遠く、受診しにくい
- 面倒くさい
- 受診するのを忘れていた
- 無回答



※がん検診受診対象者の20代女性、30代以上を母数として集計しています。

(10代、20代女性以外、年代無回答を除いて集計しています)

性別でみると、男性と女性の順位が異なり、男性は「健康なので受診する必要性を感じない」22.1%、「検診費用が高い」18.4%、「受診する時間がない」「面倒くさい」16.7%となっています。女性は「健康なので受診する必要性を感じない」19.4%、「面倒くさい」17.9%、「検診費用が高い」14.1%となっています。

年代別でみると、「健康なので受診する必要性を感じない」は70代以上28.7%、60代25.0%、20代20.0%の順になっています。「受診する時間がない」は20代30.0%、50代24.6%、30代24.3%の順になっています。

行政区別でみると、「健康なので受診する必要性を感じない」は葵区23.6%、駿河区20.1%、清水区18.4%の順になっています。

がん検診の種類

検診の種類	検査詳細	対象年齢 <sup>※1</sup>
大腸がん検診	便潜血検査	40歳以上
胃がん検診	X線検査(バリウム検査) または 内視鏡検査 <sup>※2</sup>	50歳以上 (偶数年齢)
胃がんリスク検診	ABC検査(血液検査)、内視鏡検査	35歳から49歳 (対象期間に1回のみ)
子宮頸がん検診	子宮頸部細胞診検査	20歳以上の女性 (偶数年齢) <sup>※3</sup>
乳がん検診	マンモグラフィ、視触診	40歳以上の女性 (偶数年齢) <sup>※3</sup>
前立腺がん検診	PSA検査(血液検査)	50歳以上の男性
骨粗しょう症検診	骨量測定検査	30歳以上の女性
結核・肺がん検診	胸部エックス線検査・喀痰検査 <sup>※4</sup>	40歳以上

※1 対象年齢は、令和6年3月31日時点での年齢です。

※2 X線検査(バリウム検査)または内視鏡検査のどちらかを選択して受診いただけます。

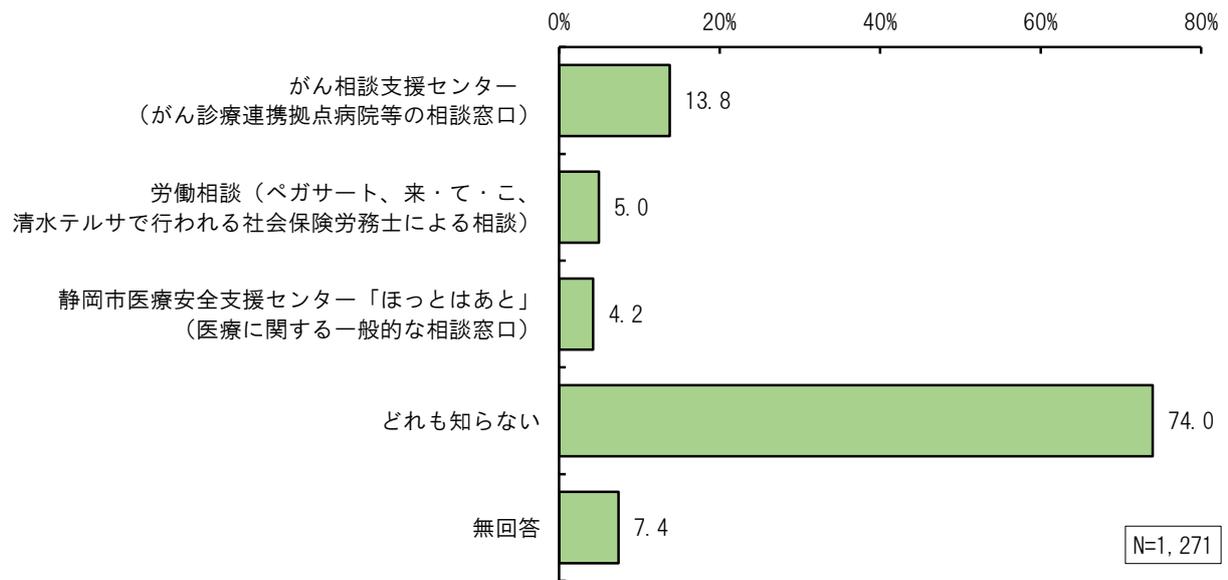
※3 令和5年度に限り、奇数年齢でも令和3年度に静岡市の乳がん検診・子宮頸がん検診を受診された方は対象となります。

※4 喀痰検査は、50歳以上で喫煙指数(1日に吸う本数×喫煙年数)が600以上の希望する方のみです。

問7 どなたでも無料で利用できる相談窓口として、次のような窓口があります。知っているものは何ですか。(〇はいくつでも)

無料で利用できる相談窓口として知っているものについては、「がん相談支援センター（がん診療連携拠点病院等の相談窓口）」13.8%と最も多く、次いで「労働相談（ペガサート、来・て・こ、清水テルサで行われる社会保険労務士による相談）」5.0%、「静岡市医療安全支援センター「ほっとはあと」（医療に関する一般的な相談窓口）」4.2%となっています。

また、「どれも知らない」は74.0%となっています。



単位：（％）

		調査数（人）	がん相談支援センター（がん診療連携拠点病院等の相談窓口）	労働相談（ペガサート、来・て・こ、清水テルサで行われる社会保険労務士による相談）	静岡市医療安全支援センター「ほっとはあと」（医療に関する一般的な相談窓口）	どれも知らない	無回答
全体		1,271	13.8	5.0	4.2	74.0	7.4
性別	男性	536	12.1	4.3	3.5	75.6	8.0
	女性	699	15.0	5.7	4.7	72.8	6.6
年代別	10代	17	17.6	0.0	23.5	64.7	0.0
	20代	91	17.6	9.9	5.5	73.6	0.0
	30代	108	11.1	3.7	2.8	81.5	3.7
	40代	157	9.6	5.7	2.5	86.0	0.6
	50代	238	12.6	5.5	4.2	80.7	2.5
	60代	215	14.4	6.0	4.2	74.4	5.6
	70代以上	431	15.1	3.2	3.7	65.2	15.8
行政区別	葵区	403	17.4	6.5	5.0	72.2	5.0
	駿河区	350	13.1	2.6	2.9	74.6	9.1
	清水区	503	11.1	5.6	4.4	75.5	7.6

性別でみると、「がん相談支援センター（がん診療連携拠点病院等の相談窓口）」は男性12.1%、女性15.0%となっています。「労働相談（ペガサート、来・て・こ、清水テルサで行われる社会保険労務士による相談）」は男性4.3%、女性5.7%となっています。「静岡市医療安全支援センター「ほっとはあと」（医療に関する一般的な相談窓口）」は男性3.5%、女性4.7%となっています。

年代別でみると、「がん相談支援センター（がん診療連携拠点病院等の相談窓口）」は10代、20代17.6%、70代以上15.1%の順になっています。「労働相談（ペガサート、来・て・こ、清水テルサで行われる社会保険労務士による相談）」は20代9.9%、60代6.0%、40代5.7%の順になっています。

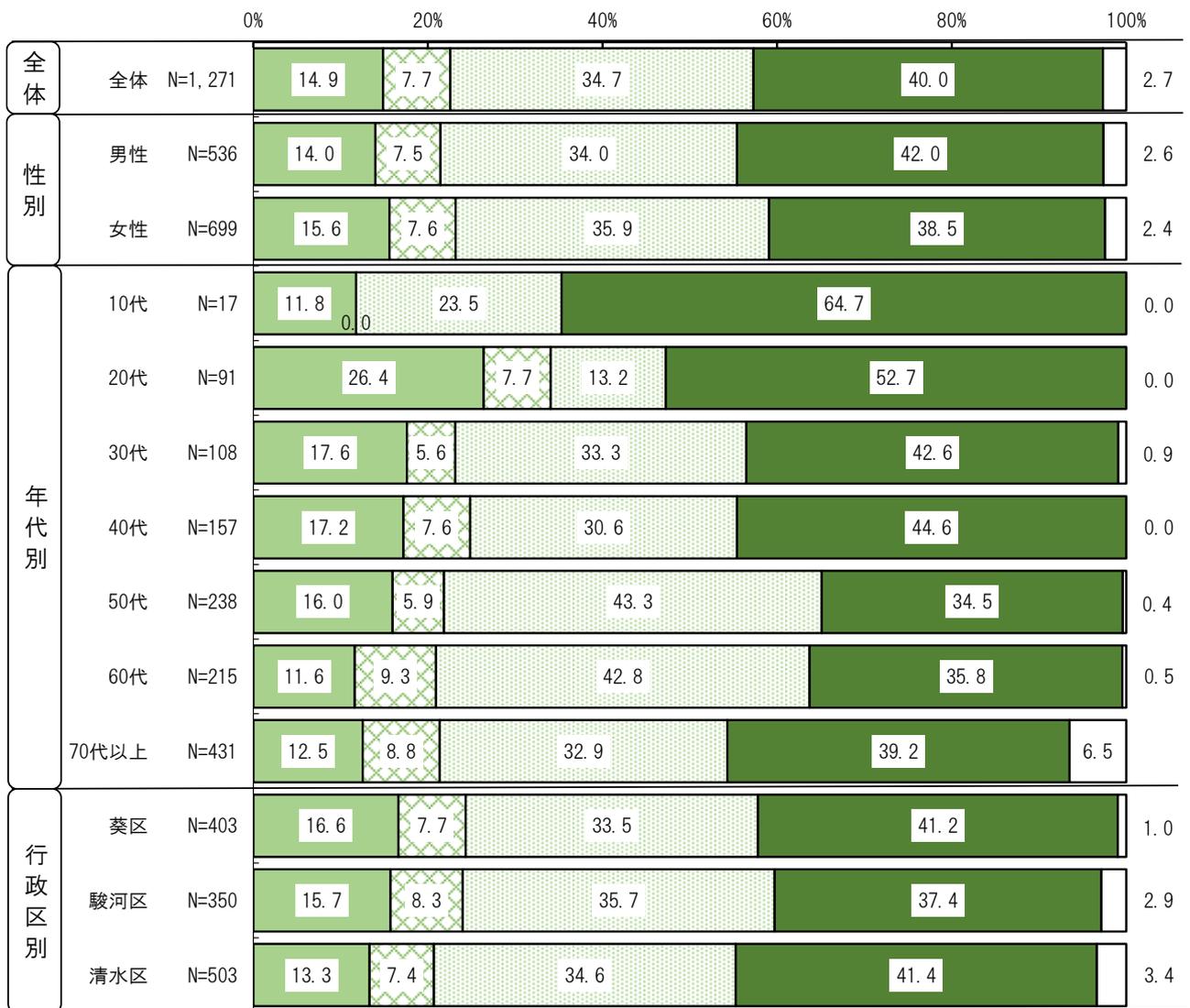
行政区別でみると、「がん相談支援センター（がん診療連携拠点病院等の相談窓口）」は葵区17.4%、駿河区13.1%、清水区11.1%の順になっています。「労働相談（ペガサート、来・て・こ、清水テルサで行われる社会保険労務士による相談）」は葵区6.5%、清水区5.6%、駿河区2.6%の順になっています。

問8 あなたもしくは家族などの身近な人が、がんにかかったことがありますか。  
(○は1つ)

あなたもしくは家族などの身近な人が、がんにかかったことがあるかについては、「ない」40.0%と最も多く、次いで「ある（5年より前）」34.7%、「ある（3年以内）」14.9%、「ある（4年～5年以内）」7.7%となっています。

また、『ある』（「ある（3年以内）」+「ある（4年～5年以内）」+「ある（5年より前）」）は57.3%となっています。

■ ある（3年以内） ■ ある（4年～5年以内） ■ ある（5年より前） ■ ない □ 無回答



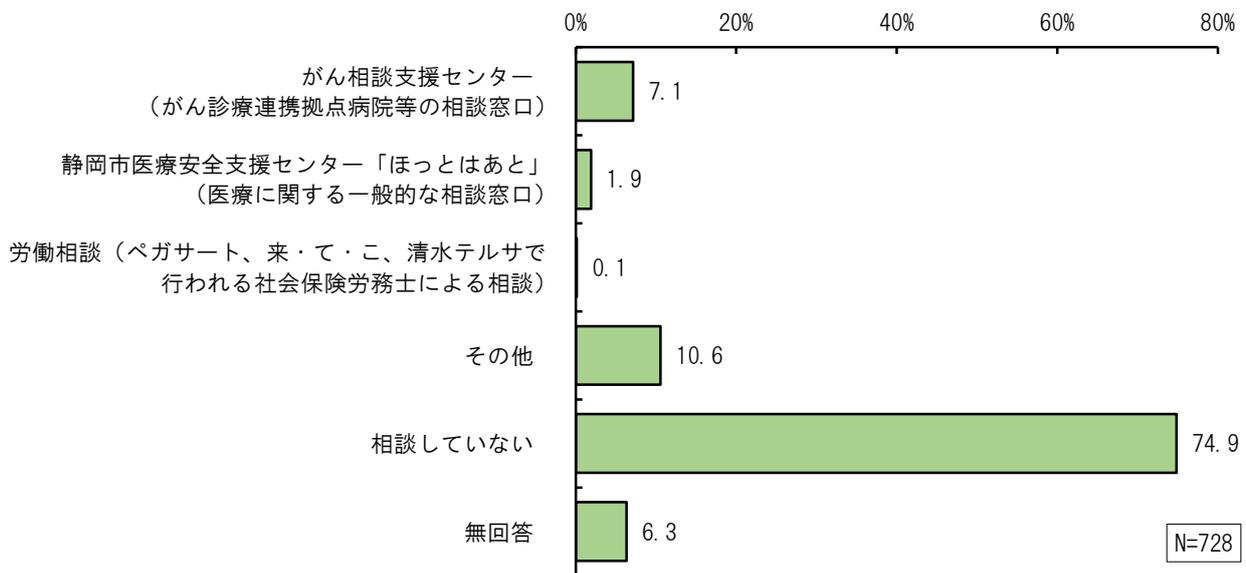
性別でみると、『ある』（「ある（3年以内）」+「ある（4年～5年以内）」+「ある（5年より前）」）は男性55.5%、女性59.1%となっています。「ない」は男性42.0%、女性38.5%となっています。

年代別でみると、『ある』は50代65.2%、60代63.7%、30代56.5%の順になっています。「ない」は10代64.7%、20代52.7%、40代44.6%の順になっています。

行政区別でみると、『ある』は駿河区59.7%、葵区57.8%、清水区55.3%の順になっています。「ない」は清水区41.4%、葵区41.2%、駿河区37.4%の順になっています。

問8で「1 ある（3年以内）」「2 ある（4年～5年以内）」「3 ある（5年より前）」と回答した方にお聞きします。  
 問8-1 利用したことがある相談先はどこですか。  
 (〇はいくつでも)

『ある』（「ある（3年以内）」+「ある（4年～5年以内）」+「ある（5年より前）」）と回答した方が利用したことがある相談先については、「がん相談支援センター（がん診療連携拠点病院等の相談窓口）」7.1%と最も多く、次いで「静岡市医療安全支援センター「ほっとはあと」（医療に関する一般的な相談窓口）」1.9%、「労働相談（ペガサート、来・て・こ、清水テルサで行われる社会保険労務士による相談）」0.1%となっています。  
 また、「相談していない」は74.9%となっています。



II 調査結果【4. がんについて】

単位：（％）

		調査数（人）	がん相談支援センター（がん診療連携拠点病院等の相談窓口）	「静岡市医療安全支援センター「ほっとはあと」（医療に関する一般的な相談窓口）」	労働相談（ペガサート、来・て・こ、清水テルサで行われる社会保険労務士による相談）	その他	相談していない	無回答
全体		728	7.1	1.9	0.1	10.6	74.9	6.3
性別	男性	297	8.1	1.7	0.3	11.4	74.4	5.1
	女性	413	6.5	2.2	0.0	9.7	75.5	7.0
年代別	10代	6	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
	20代	43	4.7	0.0	0.0	14.0	79.1	2.3
	30代	61	6.6	3.3	0.0	8.2	85.2	0.0
	40代	87	5.7	2.3	1.1	10.3	80.5	2.3
	50代	155	5.2	0.0	0.0	4.5	90.3	0.6
	60代	137	10.2	1.5	0.0	8.0	73.7	6.6
	70代以上	234	7.3	3.4	0.0	16.2	60.3	13.7
行政区別	葵区	233	8.6	2.6	0.0	12.4	71.7	6.4
	駿河区	209	5.7	2.9	0.5	7.7	77.0	7.7
	清水区	278	7.2	0.7	0.0	10.4	76.3	5.4

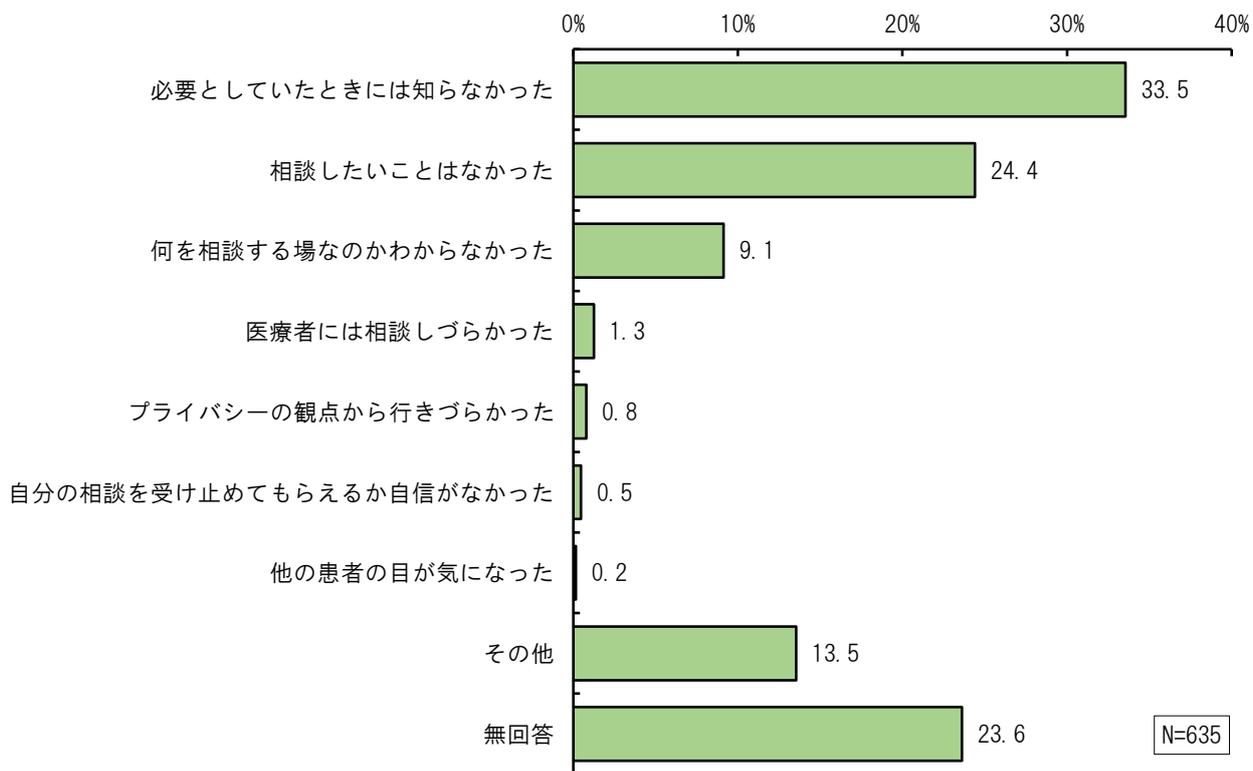
性別で見ると、「がん相談支援センター（がん診療連携拠点病院等の相談窓口）」は男性8.1%、女性6.5%となっています。「静岡市医療安全支援センター「ほっとはあと」（医療に関する一般的な相談窓口）」は男性1.7%、女性2.2%となっています。「労働相談（ペガサート、来・て・こ、清水テルサで行われる社会保険労務士による相談）」は男性0.3%、女性0.0%となっています。

年代別で見ると、「がん相談支援センター（がん診療連携拠点病院等の相談窓口）」は10代33.3%、60代10.2%、70代以上7.3%の順になっています。「静岡市医療安全支援センター「ほっとはあと」（医療に関する一般的な相談窓口）」は70代以上3.4%、30代3.3%、40代2.3%の順になっています。

行政区別で見ると、「がん相談支援センター（がん診療連携拠点病院等の相談窓口）」は葵区8.6%、清水区7.2%、駿河区5.7%の順になっています。「静岡市医療安全支援センター「ほっとはあと」（医療に関する一般的な相談窓口）」は駿河区2.9%、葵区2.6%、清水区0.7%の順になっています。

問8-1で「1 がん相談支援センター」以外を選んだ方にお聞きします。  
 問8-2 がん相談支援センターを利用しなかった理由は何ですか。  
 (〇はいくつでも)

がん相談支援センターを利用しなかった理由については、「必要としていたときには知らなかった」33.5%と最も多く、次いで「相談したいことはなかった」24.4%、「何を相談する場なのかわからなかった」9.1%となっています。



Ⅱ 調査結果【4. がんについて】

単位：（％）

		調査数（人）	必要としていたときには知らなかった	相談したいことはなかった	何を相談する場なのかわからなかった	医療者には相談しづらかった	プライベートの観点から行きづらかった	自分の相談を受け止めてもらえない自信がなかった	他の患者の目が気になった	その他	無回答
全体		635	33.5	24.4	9.1	1.3	0.8	0.5	0.2	13.5	23.6
性別	男性	260	36.2	25.8	9.2	2.3	1.2	0.4	0.0	13.1	19.6
	女性	360	32.5	23.3	8.9	0.6	0.6	0.6	0.3	13.1	26.7
年代別	10代	4	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	20代	40	25.0	32.5	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	27.5
	30代	59	37.3	18.6	10.2	3.4	1.7	1.7	0.0	11.9	22.0
	40代	81	29.6	29.6	12.3	1.2	1.2	1.2	0.0	12.3	18.5
	50代	147	35.4	25.2	9.5	2.0	1.4	0.7	0.7	15.0	19.7
	60代	114	34.2	28.1	6.1	0.9	0.0	0.0	0.0	11.4	25.4
	70代以上	186	34.9	18.8	10.8	0.5	0.5	0.0	0.0	14.5	27.4
行政区別	葵区	202	31.7	26.2	7.9	2.0	2.0	0.5	0.0	11.9	24.8
	駿河区	182	32.4	24.2	9.3	1.1	0.0	0.5	0.0	13.7	25.8
	清水区	243	36.6	22.2	10.3	0.8	0.4	0.4	0.4	14.0	21.8

性別で見ると、「必要としていたときには知らなかった」は男性36.2%、女性32.5%となっています。「相談したいことはなかった」は男性25.8%、女性23.3%となっています。「何を相談する場なのかわからなかった」は男性9.2%、女性8.9%となっています。

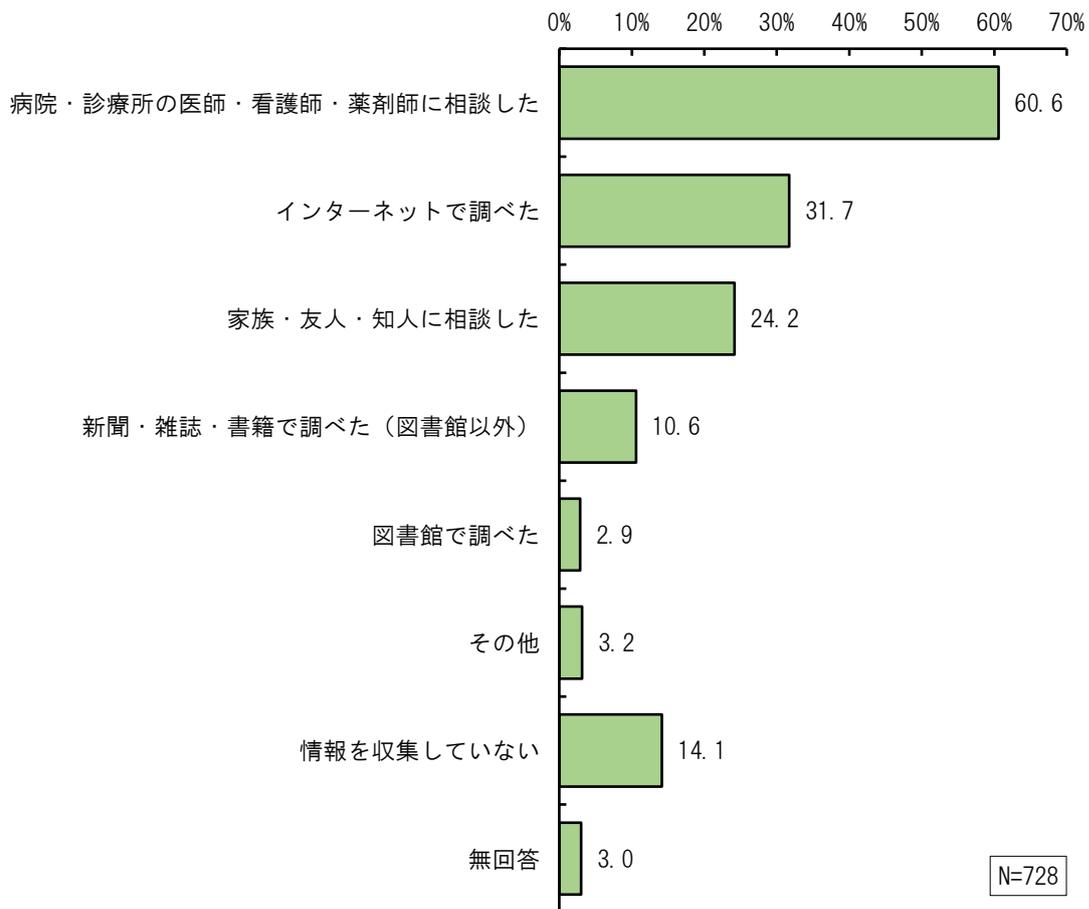
年代別で見ると、「必要としていたときには知らなかった」は30代37.3%、50代35.4%、70代以上34.9%の順になっています。「相談したいことはなかった」は20代32.5%、40代29.6%、60代28.1%の順になっています。

行政区別で見ると、「必要としていたときには知らなかった」は清水区 36.6%、駿河区 32.4%、葵区 31.7%の順になっています。「相談したいことはなかった」は葵区 26.2%、駿河区 24.2%、清水区 22.2%の順になっています。

問8で「1 ある（3年以内）」「2 ある（4年～5年以内）」「3 ある（5年より前）」と回答した方にお聞きします。  
問8-3 あなたやご家族が、がんに関する情報を集めるために行ったことは何ですか。  
（〇はいくつでも）

『ある』（「ある（3年以内）」+「ある（4年～5年以内）」+「ある（5年より前）」）と回答した方ががんに関する情報を集めるために行ったことについては、「病院・診療所の医師・看護師・薬剤師に相談した」60.6%と最も多く、次いで「インターネットで調べた」31.7%、「家族・友人・知人に相談した」24.2%となっています。

また、「情報を収集していない」は14.1%となっています。



Ⅱ 調査結果【4. がんについて】

単位：（％）

		調査数（人）	病院・診療所の医師・看護師・薬剤師に相談した	インターネットで調べた	家族・友人・知人に相談した	新聞・雑誌・書籍で調べた（図書館以外）	図書館で調べた	その他	情報を収集していない	無回答
全体		728	60.6	31.7	24.2	10.6	2.9	3.2	14.1	3.0
性別	男性	297	57.6	32.3	19.2	8.8	2.7	3.7	16.8	3.0
	女性	413	63.7	30.8	26.9	11.9	3.1	2.4	12.6	2.9
年代別	10代	6	33.3	33.3	50.0	0.0	33.3	0.0	16.7	0.0
	20代	43	55.8	41.9	25.6	2.3	2.3	2.3	14.0	0.0
	30代	61	60.7	42.6	31.1	1.6	1.6	3.3	19.7	0.0
	40代	87	52.9	52.9	25.3	9.2	4.6	5.7	12.6	2.3
	50代	155	51.0	43.2	25.2	14.8	3.2	1.9	17.4	1.3
	60代	137	60.6	25.5	16.8	8.0	1.5	2.9	20.4	2.2
	70代以上	234	71.8	15.0	23.5	13.2	2.6	3.4	7.7	6.0
行政区別	葵区	233	61.8	34.3	21.9	12.4	3.4	2.6	12.4	0.4
	駿河区	209	55.0	29.2	27.8	11.0	1.4	2.4	18.7	4.3
	清水区	278	63.7	31.7	22.7	8.3	3.6	4.3	12.6	3.6

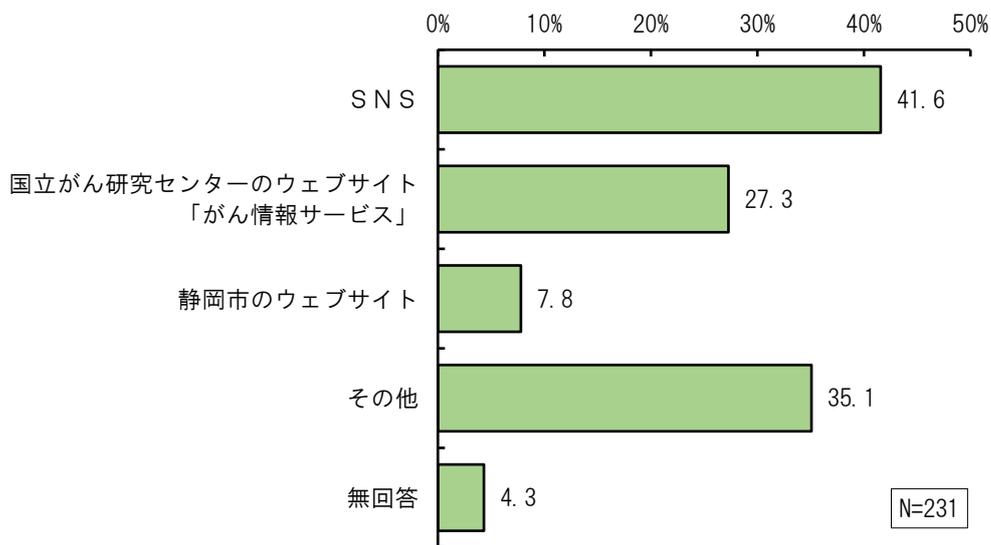
性別でみると、「病院・診療所の医師・看護師・薬剤師に相談した」は男性57.6%、女性63.7%となっています。「インターネットで調べた」は男性32.3%、女性30.8%となっています。

年代別でみると、「病院・診療所の医師・看護師・薬剤師に相談した」は70代以上71.8%、30代60.7%、60代60.6%の順になっています。「インターネットで調べた」は40代52.9%、50代43.2%、30代42.6%の順になっています。

行政区別でみると、「病院・診療所の医師・看護師・薬剤師に相談した」は清水区63.7%、葵区61.8%、駿河区55.0%の順になっています。「インターネットで調べた」は葵区34.3%、清水区31.7%、駿河区29.2%の順になっています。

問8-3で「2 インターネットで調べた」と回答した方にお聞きします。  
問8-4 利用したウェブサイトは何ですか。  
(〇はいくつでも)

「インターネットで調べた」と回答した方が利用したウェブサイトについては、「SNS」41.6%と最も多く、次いで「国立がん研究センターのウェブサイト「がん情報サービス」」27.3%、「静岡市のウェブサイト」7.8%となっています。



単位：（％）

		調査数 (人)	S N S	国立がん研究センターのウェブサイト「がん情報サービス」	静岡市のウェブサイト	その他	無回答
全体		231	41.6	27.3	7.8	35.1	4.3
性別	男性	96	40.6	28.1	8.3	31.3	4.2
	女性	127	43.3	26.8	7.9	37.8	3.9
年代別	10代	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	20代	18	61.1	38.9	16.7	16.7	0.0
	30代	26	50.0	38.5	11.5	23.1	0.0
	40代	46	37.0	32.6	8.7	47.8	0.0
	50代	67	37.3	17.9	4.5	44.8	6.0
	60代	35	42.9	22.9	2.9	28.6	8.6
	70代以上	35	40.0	28.6	11.4	22.9	8.6
行政区別	葵区	80	42.5	22.5	6.3	41.3	3.8
	駿河区	61	34.4	31.1	11.5	34.4	4.9
	清水区	88	46.6	29.5	6.8	28.4	4.5

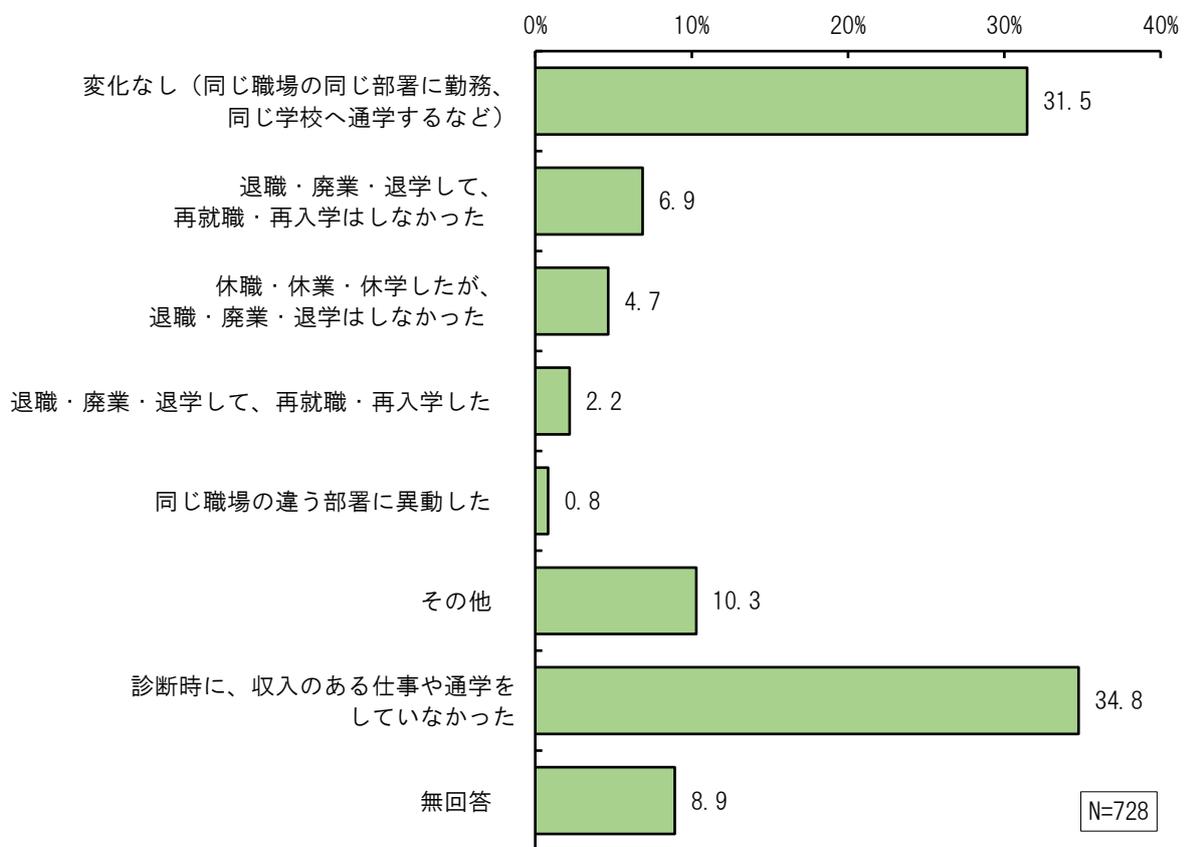
性別でみると、「SNS」は男性40.6%、女性43.3%となっています。「国立がん研究センターのウェブサイト「がん情報サービス」」は男性28.1%、女性26.8%となっています。「静岡市のウェブサイト」は男性8.3%、女性7.9%となっています。

年代別でみると、「SNS」は20代61.1%、10代、30代50.0%の順になっています。「国立がん研究センターのウェブサイト「がん情報サービス」」は10代50.0%、20代38.9%、30代38.5%の順になっています。「静岡市のウェブサイト」は20代16.7%、30代11.5%、70代以上11.4%の順になっています。

行政区別でみると、「SNS」は清水区46.6%、葵区42.5%、駿河区34.4%の順になっています。「国立がん研究センターのウェブサイト「がん情報サービス」」は駿河区31.1%、清水区29.5%、葵区22.5%の順になっています。「静岡市のウェブサイト」は駿河区11.5%、清水区6.8%、葵区6.3%の順になっています。

問8で「1 ある（3年以内）」「2 ある（4年～5年以内）」「3 ある（5年より前）」と回答した方にお聞きします。  
 問8-5 がんと診断された方の働き方や学び方にどのような変化がありましたか。  
 (〇は1つ)

『ある』（「ある（3年以内）」+「ある（4年～5年以内）」+「ある（5年より前）」）と回答した方がんと診断された方の働き方や学び方にあった変化については、「変化なし（同じ職場の同じ部署に勤務、同じ学校へ通学するなど）」31.5%と最も多く、次いで「退職・廃業・退学して、再就職・再入学はしなかった」6.9%、「休職・休業・休学したが、退職・廃業・退学はしなかった」4.7%となっています。  
 また「診断時に、収入のある仕事や通学をしていなかった」は34.8%となっています。



II 調査結果【4. がんについて】

単位：（％）

		調査数（人）	変化なし（同じ職場の同じ部署に勤務、同じ学校へ通学するなど）	退職・廃業・退学して、再就職・再入学はしなかった	退職・廃業・退学したが、再就職・再入学はしなかった	退職・廃業・退学して、再就職・再入学した	同じ職場の違う部署に異動した	その他	診断時に、収入のある仕事や通学をしなかった	無回答
全体		728	31.5	6.9	4.7	2.2	0.8	10.3	34.8	8.9
性別	男性	297	34.3	6.1	4.0	2.7	1.0	9.8	34.3	7.7
	女性	413	29.3	7.5	5.1	1.7	0.7	10.7	35.6	9.4
年代別	10代	6	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	20代	43	41.9	11.6	2.3	2.3	2.3	9.3	27.9	2.3
	30代	61	45.9	3.3	9.8	4.9	0.0	6.6	27.9	1.6
	40代	87	35.6	11.5	9.2	2.3	0.0	6.9	32.2	2.3
	50代	155	33.5	9.7	5.2	2.6	0.0	8.4	36.1	4.5
	60代	137	28.5	7.3	2.9	1.5	2.2	5.1	39.4	13.1
	70代以上	234	23.9	3.0	3.0	1.7	0.9	17.1	35.9	14.5
行政区別	葵区	233	33.0	5.2	5.6	2.6	0.4	10.3	34.3	8.6
	駿河区	209	32.1	6.2	4.3	1.9	1.0	9.1	34.4	11.0
	清水区	278	29.1	8.6	4.3	2.2	1.1	11.2	36.3	7.2

性別でみると、「変化なし（同じ職場の同じ部署に勤務、同じ学校へ通学するなど）」は男性34.3%、女性29.3%となっています。「退職・廃業・退学して、再就職・再入学はしなかった」は男性6.1%、女性7.5%となっています。

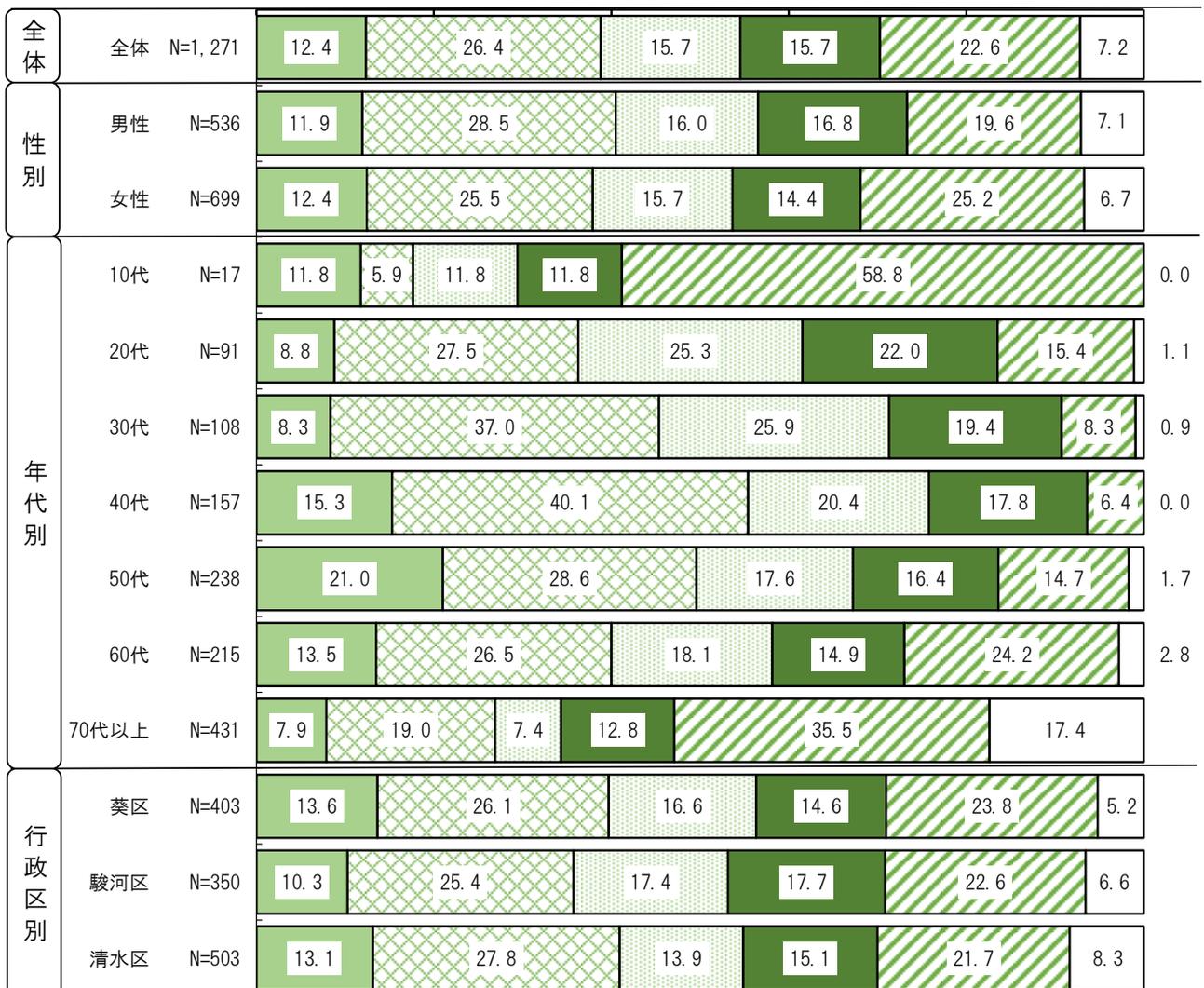
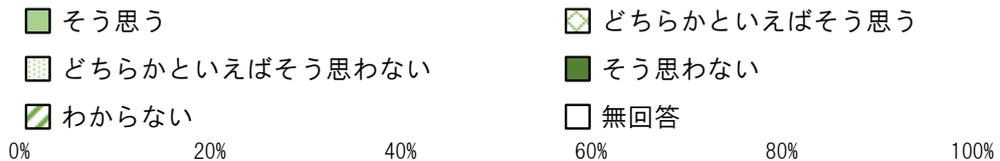
年代別でみると、「変化なし（同じ職場の同じ部署に勤務、同じ学校へ通学するなど）」は10代50.0%、30代45.9%、20代41.9%の順になっています。「退職・廃業・退学して、再就職・再入学はしなかった」は10代16.7%、20代11.6%、40代11.5%の順になっています。

行政区別でみると、「変化なし（同じ職場の同じ部署に勤務、同じ学校へ通学するなど）」は葵区33.0%、駿河区32.1%、清水区29.1%の順になっています。

問9 あなたは、がんの治療や検査のために2週間に一度程度病院に通う必要がある場合、働き続けられると思いますか。(〇は1つ)  
 ※あなたが現在働いていない場合は、働いているご家族や友人・知人ががんにかかった場合、その方が働き続けられるかをお答えください。

2週間に一度程度病院に通う必要がある場合、働き続けられると思うかについては、「どちらかといえばそう思う」26.4%と最も多く、次いで「わからない」22.6%、「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」15.7%となっています。

また、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)は38.8%、『そう思わない』(「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」)は31.4%となっています。



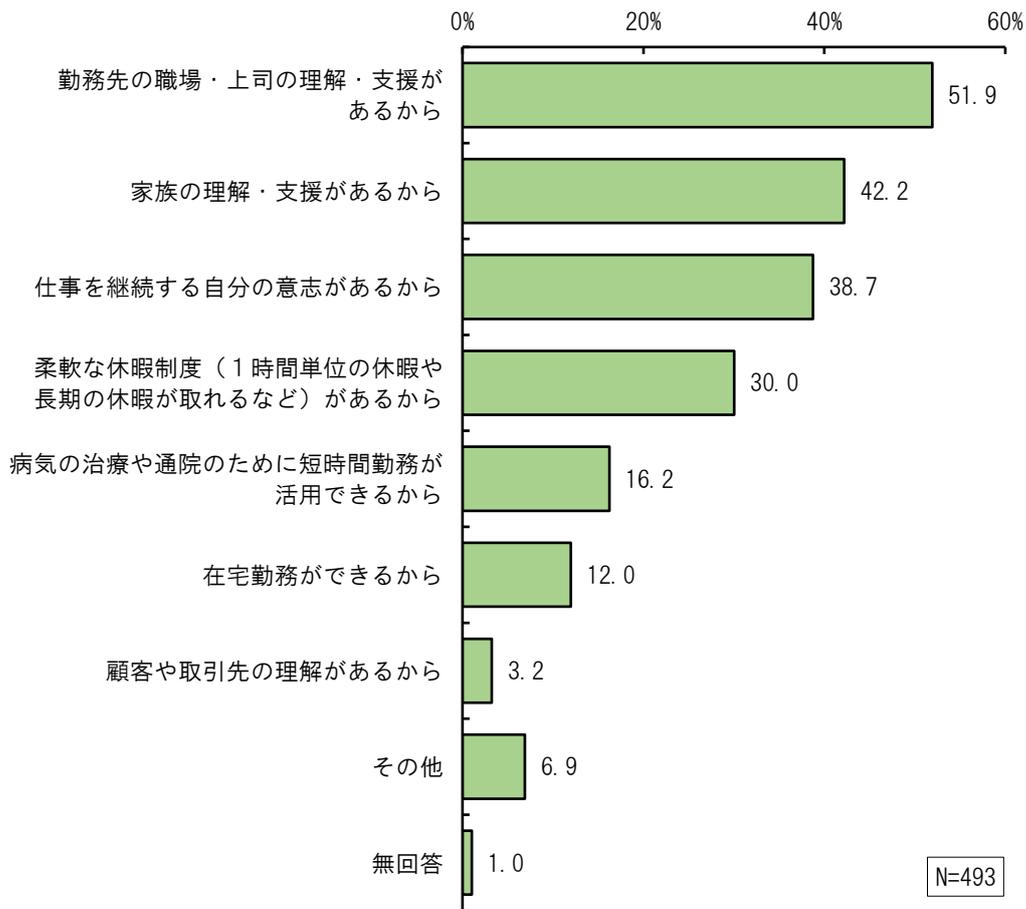
性別でみると、『そう思う』(「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)は男性40.4%、女性37.9%となっています。『そう思わない』(「どちらかといえばそう思わない」+「そう思わない」)は男性32.8%、女性30.1%となっています。

年代別でみると、『そう思う』は40代55.4%、50代49.6%、30代45.3%の順になっています。『そう思わない』は20代47.3%、30代45.3%、40代38.2%の順になっています。

行政区別でみると、『そう思う』は清水区40.9%、葵区39.7%、駿河区35.7%の順になっています。

問9で「1 そう思う」「2 どちらかといえばそう思う」と回答した方にお聞きします。  
 問9-1 その理由は何ですか。  
 (〇はいくつでも)

働き続けられると思う理由については、「勤務先の職場・上司の理解・支援があるから」51.9%と最も多く、次いで「家族の理解・支援があるから」42.2%、「仕事を継続する自分の意志があるから」38.7%、「柔軟な休暇制度（1時間単位の休暇や長期の休暇が取れるなど）があるから」30.0%、「病気の治療や通院のために短時間勤務が活用できるから」16.2%となっています。



単位：(%)

		調査数(人)	勤務先の職場・上司の理解・支援があるから	家族の理解・支援があるから	仕事を継続する自分の意志があるから	柔軟な休暇制度(1時間単位の休暇や長期の休暇が取れるなど)があるから	病気の治療や通院のために短時間勤務が活用できるから	在宅勤務ができるから	顧客や取引先の理解があるから	その他	無回答
全体		493	51.9	42.2	38.7	30.0	16.2	12.0	3.2	6.9	1.0
性別	男性	217	48.8	37.3	39.6	25.3	14.7	12.9	4.1	5.5	0.9
	女性	265	54.7	46.0	38.1	34.3	17.7	11.3	1.9	8.3	0.8
年代別	10代	3	66.7	66.7	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
	20代	33	57.6	18.2	27.3	45.5	12.1	18.2	3.0	0.0	0.0
	30代	49	63.3	40.8	28.6	44.9	20.4	20.4	6.1	6.1	2.0
	40代	87	58.6	42.5	40.2	26.4	14.9	14.9	5.7	6.9	0.0
	50代	118	51.7	35.6	28.8	31.4	12.7	11.0	1.7	10.2	0.8
	60代	86	45.3	40.7	46.5	31.4	22.1	10.5	5.8	8.1	0.0
	70代以上	116	45.7	56.9	48.3	19.8	16.4	6.9	0.0	4.3	2.6
行政区別	葵区	160	48.8	38.1	42.5	31.9	15.6	8.8	3.8	8.8	0.6
	駿河区	125	55.2	44.8	36.8	26.4	17.6	14.4	2.4	4.0	0.8
	清水区	206	52.4	43.7	36.9	30.6	16.0	13.1	3.4	6.8	1.5

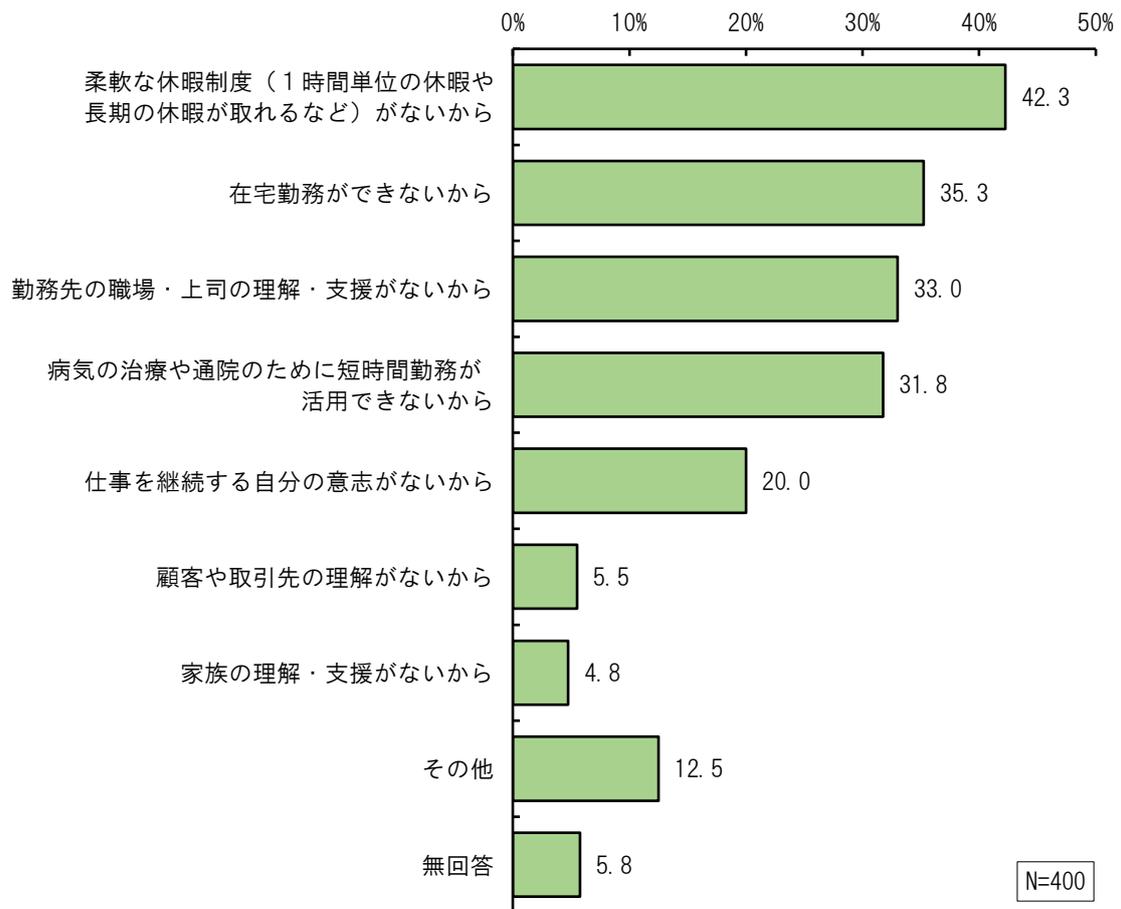
性別でみると、「勤務先の職場・上司の理解・支援があるから」は男性48.8%、女性54.7%となっています。「家族の理解・支援があるから」は男性37.3%、女性46.0%となっています。

年代別でみると、「勤務先の職場・上司の理解・支援があるから」は10代66.7%、30代63.3%、40代58.6%の順になっています。「家族の理解・支援があるから」は10代66.7%、70代以上56.9%、40代42.5%の順になっています。

行政区別でみると、「勤務先の職場・上司の理解・支援があるから」は駿河区 55.2%、清水区 52.4%、葵区 48.8%の順になっています。「家族の理解・支援があるから」は駿河区 44.8%、清水区 43.7%、葵区 38.1%の順になっています。

問9で「3 どちらかといえばそう思わない」「4 そう思わない」と回答した方にお聞きします。  
 問9-2 その理由は何ですか。  
 (〇はいくつでも)

働き続けられると思わない理由については、「柔軟な休暇制度（1時間単位の休暇や長期の休暇が取れるなど）がないから」42.3%と最も多く、次いで「在宅勤務ができないから」35.3%、「勤務先の職場・上司の理解・支援がないから」33.0%、「病気の治療や通院のために短時間勤務が活用できないから」31.8%、「仕事を継続する自分の意志がないから」20.0%となっています。



単位：(%)

		調査数(人)	柔軟な休暇制度(1時間単位の休暇や長期の休暇が取れるなど)がないから	在宅勤務ができないから	勤務先の職場・上司の理解・支援がないから	病気の治療や通院のために短時間勤務が活用できないから	仕事を継続する自分の意志がないから	顧客や取引先の理解がないから	家族の理解・支援がないから	その他	無回答
全体		400	42.3	35.3	33.0	31.8	20.0	5.5	4.8	12.5	5.8
性別	男性	176	38.6	35.2	34.1	31.3	18.8	6.8	4.0	12.5	4.5
	女性	211	46.0	36.5	33.2	33.2	20.9	4.3	5.7	12.3	6.2
年代別	10代	4	25.0	25.0	25.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20代	43	62.8	32.6	46.5	41.9	23.3	9.3	7.0	4.7	2.3
	30代	49	51.0	42.9	38.8	24.5	16.3	8.2	2.0	10.2	2.0
	40代	60	45.0	35.0	36.7	35.0	15.0	6.7	6.7	20.0	3.3
	50代	81	38.3	43.2	34.6	29.6	18.5	3.7	4.9	12.3	1.2
	60代	71	45.1	46.5	32.4	29.6	29.6	4.2	2.8	8.5	2.8
	70代以上	87	28.7	18.4	20.7	32.2	18.4	4.6	5.7	16.1	16.1
行政区別	葵区	126	41.3	35.7	36.5	32.5	23.0	7.9	3.2	18.3	4.0
	駿河区	123	41.5	31.7	34.1	30.1	14.6	4.9	7.3	5.7	6.5
	清水区	146	44.5	39.0	29.5	32.9	22.6	4.1	4.1	13.0	5.5

性別でみると、「柔軟な休暇制度(1時間単位の休暇や長期の休暇が取れるなど)がないから」は男性38.6%、女性46.0%となっています。「在宅勤務ができないから」は男性35.2%、女性36.5%となっています。「勤務先の職場・上司の理解・支援がないから」は男性34.1%、女性33.2%となっています。

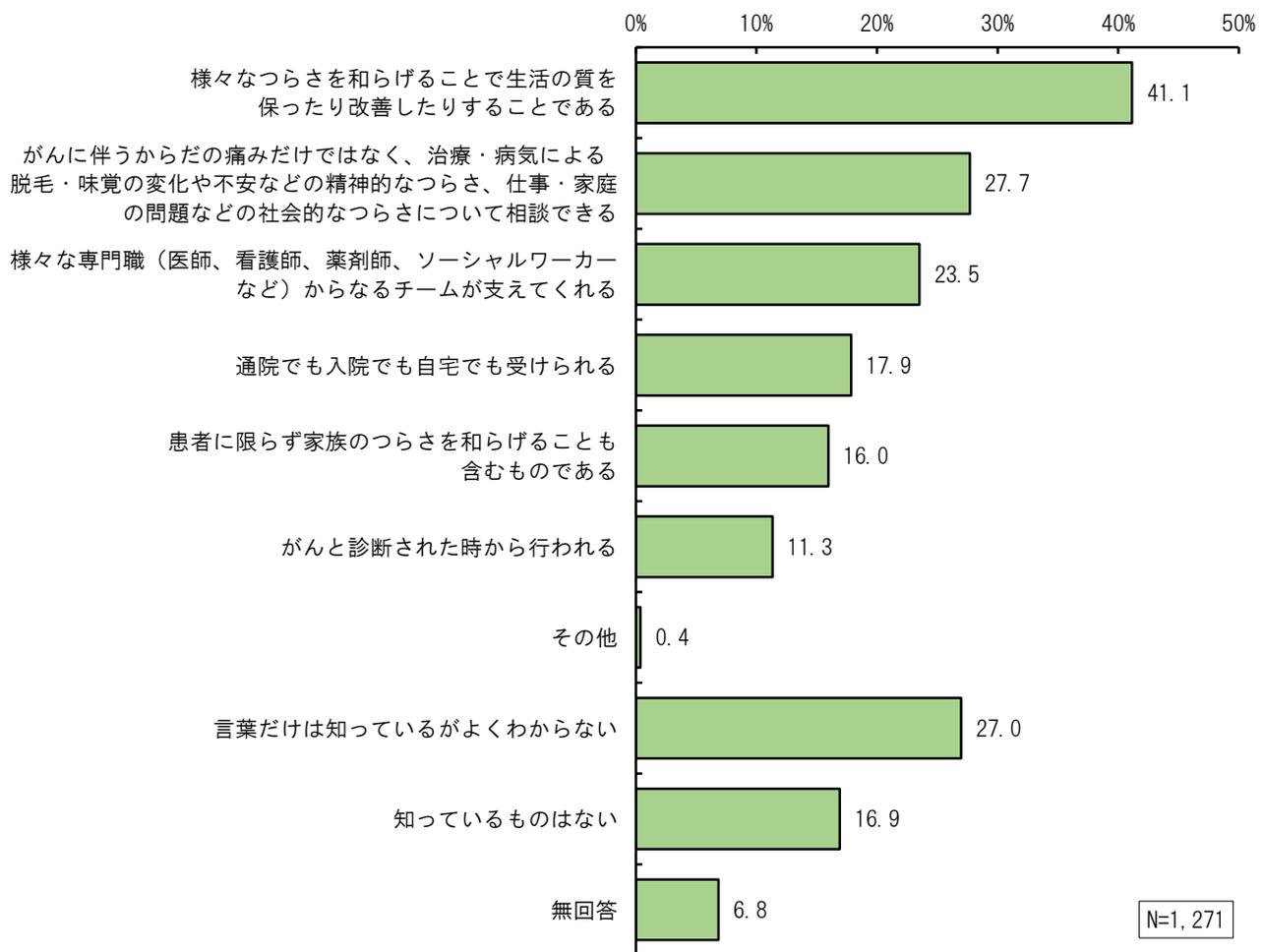
年代別でみると、「柔軟な休暇制度(1時間単位の休暇や長期の休暇が取れるなど)がないから」は20代62.8%、30代51.0%、60代45.1%の順になっています。「在宅勤務ができないから」は60代46.5%、50代43.2%、30代42.9%の順になっています。

行政区別でみると、「柔軟な休暇制度(1時間単位の休暇や長期の休暇が取れるなど)がないから」は清水区44.5%、駿河区41.5%、葵区41.3%の順になっています。「在宅勤務ができないから」は清水区39.0%、葵区35.7%、駿河区31.7%の順になっています。

問10 がん医療における緩和ケアについて、知っていることは何ですか。  
(〇はいくつでも)

がん医療における緩和ケアで知っていることについては、「様々なつらさを和らげることで生活の質を保ったり改善したりすることである」41.1%と最も多く、次いで「がんに伴うからだの痛みだけではなく、治療・病気による脱毛・味覚の変化や不安などの精神的なつらさ、仕事・家庭の問題などの社会的なつらさについて相談できる」27.7%、「様々な専門職（医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーなど）からなるチームが支えてくれる」23.5%、「通院でも入院でも自宅でも受けられる」17.9%、「患者に限らず家族のつらさを和らげることも含むものである」16.0%となっています。

また、「言葉だけは知っているがよくわからない」27.0%、「知っているものはない」16.9%となっています。



単位：(%)

		調査数(人)	様々なつらさを和らげることで生活の質を保ったり改善したりすることである	がんに伴うからだの痛みだけではなく、治療・病気による脱毛・味覚の変化や不安などの精神的なつらさ、仕事・家庭の問題などの社会的なつらさについて相談できる	様々な専門職(医師、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカーなど)からなるチームが支えてくれる	通院でも入院でも自宅でも受けられる	患者に限らず家族のつらさを和らげることも含むものである	がんと診断された時から行われる	その他	言葉だけは知っているがよくわからない	知っているものはない	無回答
全体		1,271	41.1	27.7	23.5	17.9	16.0	11.3	0.4	27.0	16.9	6.8
性別	男性	536	33.4	21.6	14.7	14.2	12.9	10.8	0.4	25.6	23.9	8.0
	女性	699	47.5	32.9	30.8	21.3	18.7	12.0	0.4	27.9	11.6	5.6
年代別	10代	17	41.2	17.6	23.5	23.5	23.5	17.6	0.0	5.9	41.2	0.0
	20代	91	37.4	25.3	20.9	19.8	15.4	9.9	0.0	22.0	34.1	1.1
	30代	108	38.0	25.0	22.2	24.1	18.5	14.8	0.0	26.9	25.9	1.9
	40代	157	49.7	29.9	28.0	17.2	19.7	10.2	0.0	22.3	21.0	0.6
	50代	238	53.4	34.0	27.7	21.8	17.2	15.1	0.8	22.7	14.3	0.8
	60代	215	40.9	30.2	25.1	14.9	15.3	10.2	0.5	27.9	15.3	4.7
	70代以上	431	34.1	24.4	20.0	15.8	13.7	9.7	0.5	31.8	11.1	15.5
行政区別	葵区	403	43.9	28.0	23.3	19.1	15.9	14.1	0.0	24.1	16.1	6.0
	駿河区	350	38.0	26.0	22.0	16.9	14.9	8.3	0.6	29.7	18.6	6.6
	清水区	503	41.6	29.0	25.0	18.1	17.1	11.5	0.6	27.2	16.7	7.2

性別でみると、「様々なつらさを和らげることで生活の質を保ったり改善したりすることである」は男性33.4%、女性47.5%となっています。「がんに伴うからだの痛みだけではなく、治療・病気による脱毛・味覚の変化や不安などの精神的なつらさ、仕事・家庭の問題などの社会的なつらさについて相談できる」は男性21.6%、女性32.9%となっています。

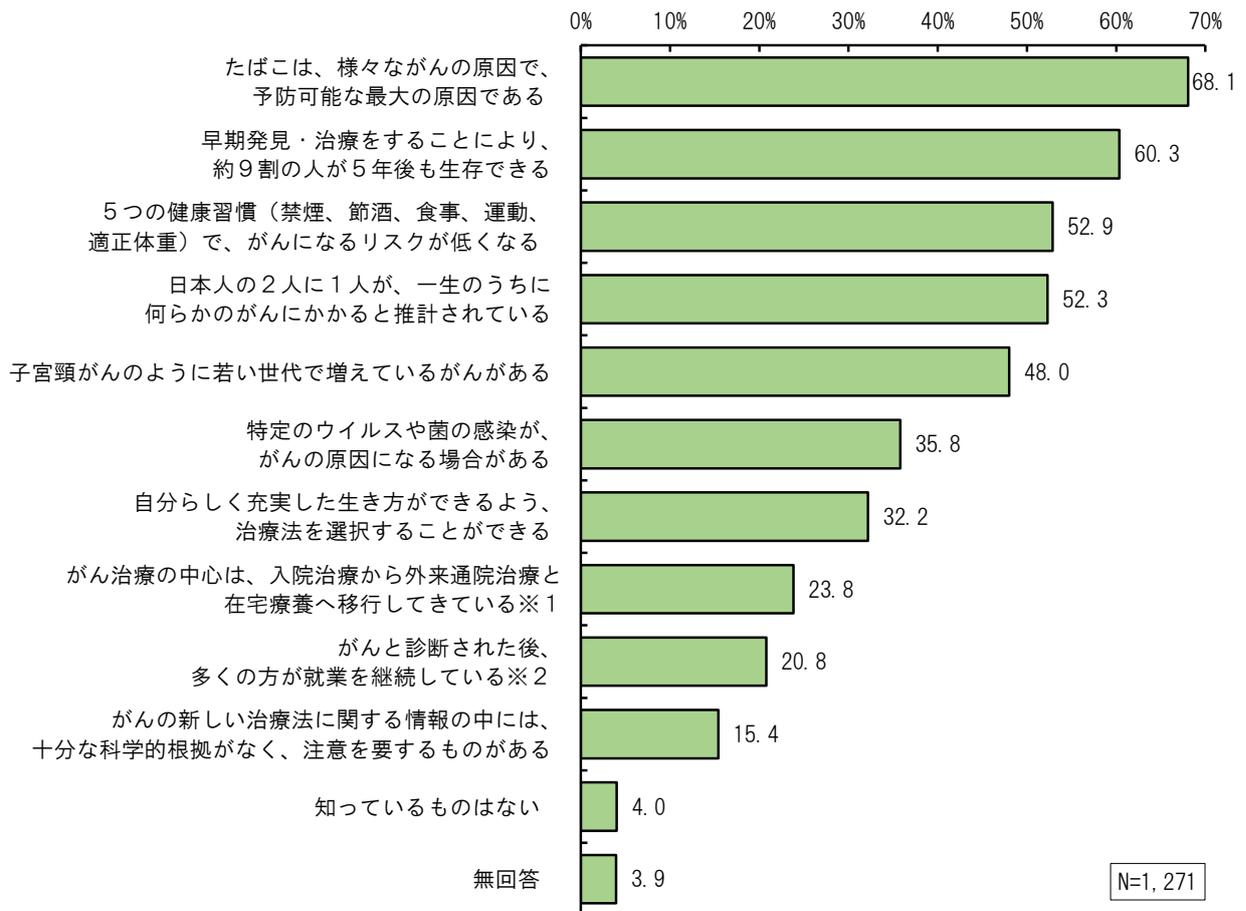
年代別でみると、「様々なつらさを和らげることで生活の質を保ったり改善したりすることである」は50代53.4%、40代49.7%、10代41.2%の順になっています。

行政区別でみると、「様々なつらさを和らげることで生活の質を保ったり改善したりすることである」は葵区43.9%、清水区41.6%、駿河区38.0%の順になっています。

問11 がんについてあなたが知っていることは何ですか。  
(〇はいくつでも)

がんについて知っていることについては、「たばこは、様々ながんの原因で、予防可能な最大の原因である」68.1%と最も多く、次いで「早期発見・治療をすることにより、約9割の人が5年後も生存できる」60.3%、「5つの健康習慣（禁煙、節酒、食事、運動、適正体重）で、がんになるリスクが低くなる」52.9%、「日本人の2人に1人が、一生のうちに何らかのがんにかかると推計されている」52.3%、「子宮頸がんのように若い世代で増えているがんがある」48.0%となっています。

また、「知っているものはない」4.0%となっています。



※1 出典：国立がん研究センターがん対策情報センター 患者体験調査報告書 平成30年度調査（令和2年10月）

※2 がん診断時に収入のある仕事をしてきた人のうち「退職・廃業した」人は19.8%であり80.2%は「休職・休業はしたが、退職・廃業はしなかった」「休職・休業、退職・廃業のようなことはなかった」と回答した 出典：※1と同じ

性別でみると、「たばこは、様々ながんの原因で、予防可能な最大の原因である」は男性66.6%、女性69.7%となっています。「早期発見・治療をすることにより、約9割の人が5年後も生存できる」は男性57.6%、女性63.1%となっています。

年代別でみると、「たばこは、様々ながんの原因で、予防可能な最大の原因である」は10代88.2%、60代74.0%、20代73.6%の順になっています。「早期発見・治療をすることにより、約9割の人が5年後も生存できる」は70代以上68.0%、60代62.8%、50代62.6%の順になっています。

行政区別でみると、「たばこは、様々ながんの原因で、予防可能な最大の原因である」は清水区 69.4%、葵区 68.5%、駿河区 66.3%の順になっています。「早期発見・治療をすることにより、約9割の人が5年後も生存できる」は葵区 63.3%、清水区 60.2%、駿河区 57.4%の順になっています。

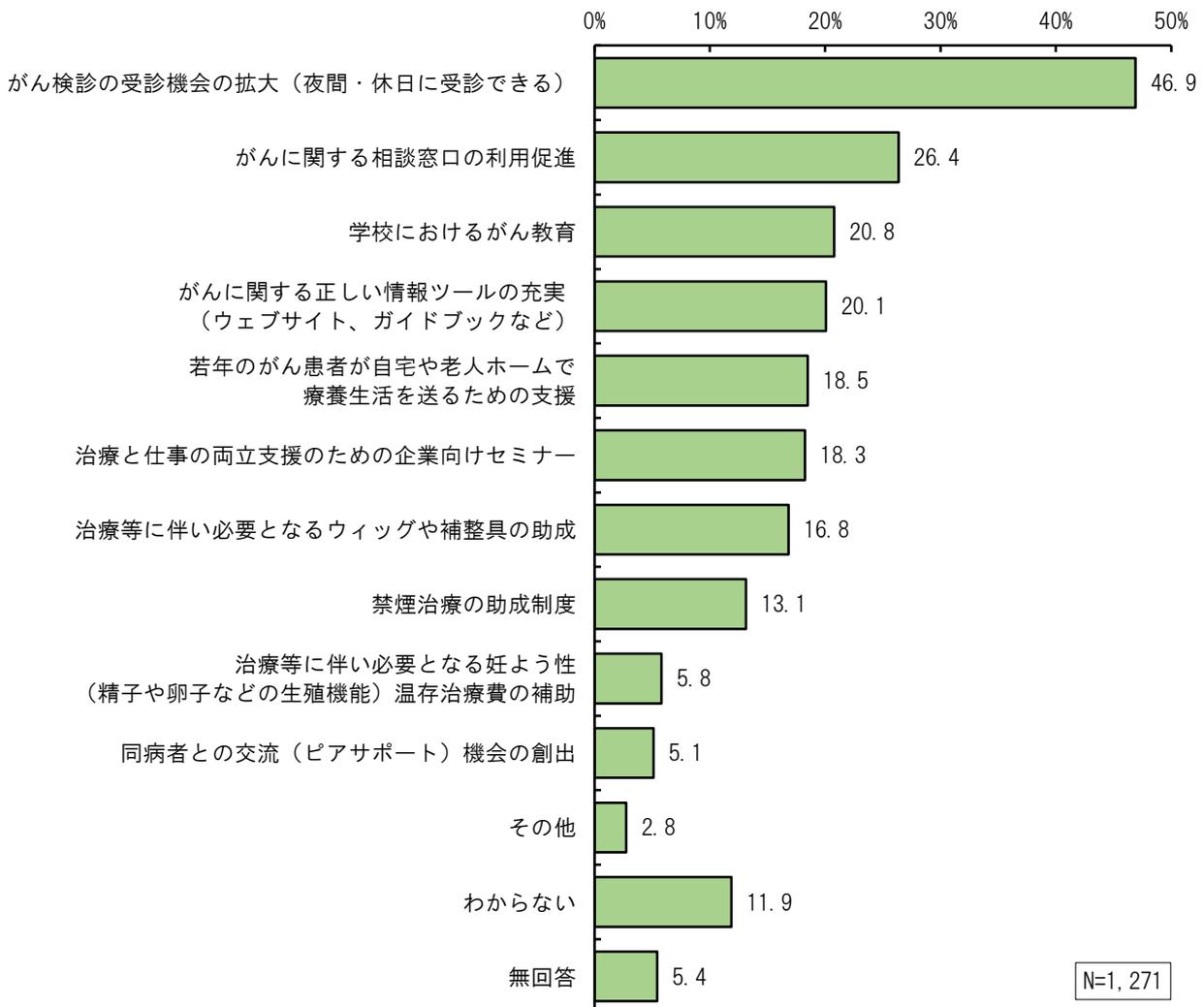
単位：(%)

		調査数(人)	たばこは、様々ながんの原因で、予防可能な最大の原因である	早期発見・治療をすることにより、約9割の人が5年後も生存できる	5つの健康習慣(禁煙、節酒、食事、運動、適正体重)で、がんになるリスクが低くなる	日本人の2人に1人が、一生のうち何らかのがんにかかる」と推計されている	子宮頸がんのように若い世代で増えているがんがある	特定のウイルスや菌の感染が、がんの原因になる場合がある	自分らしく充実した生き方ができるよう、治療法を選択することができる	在宅療養へ移行してきている※1	がん治療の中心は、入院治療から外来通院治療と在宅療養へ移行してきている※1	がんと診断された後、多くの方が就業を継続している※2	がんの新しい治療法に関する情報の中には、十分な科学的根拠がなく、注意を要するものがある	知っているものはない	無回答
全体		1,271	68.1	60.3	52.9	52.3	48.0	35.8	32.2	23.8	20.8	15.4	4.0	3.9	
性別	男性	536	66.6	57.6	52.2	50.0	31.7	27.2	24.4	17.4	14.9	15.7	6.2	4.5	
	女性	699	69.7	63.1	54.4	54.6	61.2	42.8	39.1	29.0	25.2	15.6	2.4	3.0	
年代別	10代	17	88.2	47.1	70.6	52.9	41.2	11.8	29.4	11.8	0.0	11.8	5.9	0.0	
	20代	91	73.6	42.9	49.5	47.3	56.0	29.7	37.4	16.5	16.5	17.6	9.9	1.1	
	30代	108	73.1	54.6	56.5	45.4	60.2	32.4	25.9	14.8	16.7	20.4	3.7	0.9	
	40代	157	70.1	48.4	56.1	53.5	61.1	42.0	31.2	21.7	21.7	15.9	3.8	0.6	
	50代	238	68.1	62.6	56.7	53.8	50.8	40.8	36.6	31.5	29.0	19.3	2.9	0.4	
	60代	215	74.0	62.8	58.1	54.0	49.8	43.7	31.6	27.4	20.9	17.7	2.8	1.9	
	70代以上	431	61.9	68.0	47.1	53.8	37.4	30.6	31.8	23.2	18.8	10.9	3.9	9.0	
行政区別	葵区	403	68.5	63.3	53.3	53.6	47.1	39.7	33.0	25.8	21.3	15.4	4.0	2.2	
	駿河区	350	66.3	57.4	55.1	53.4	47.4	35.4	31.7	21.7	18.0	14.6	3.1	4.0	
	清水区	503	69.4	60.2	51.7	50.7	49.7	33.8	32.0	24.5	22.3	16.5	4.8	4.8	

問12 市民が積極的にがん対策に取り組むためには、静岡市はどういったことに力を入れたらよいと思いますか。  
 (〇は3つまで)

市民が積極的にがん対策に取り組むために市が力を入れたらよいと思うことについては、「がん検診の受診機会の拡大（夜間・休日に受診できる）」46.9%と最も多く、次いで「がんに関する相談窓口の利用促進」26.4%、「学校におけるがん教育」20.8%、「がんに関する正しい情報ツールの充実（ウェブサイト、ガイドブックなど）」20.1%、「若年のがん患者が自宅や老人ホームで療養生活を送るための支援」18.5%となっています。

また、「わからない」11.9%となっています。



単位：(%)

		調査数(人)	がん検診の受診機会の拡大(夜間・休日に受診できる)	がんに関する相談窓口の利用促進	学校におけるがん教育	がんに関する正しい情報ツールの充実(ウェブサイトを、ガイドブックなど)	若年のがん患者が自宅や老人ホームで療養生活を送るための支援	治療と仕事の両立支援のための企業向けセミナー	治療等に伴い必要となるウイッグや補整具の助成	禁煙治療の助成制度	治療等に伴い必要となる妊よう性(精子や卵子などの生殖機能) 温存治療費の補助	同病者との交流(ピアサポート) 機会の創出	その他	わからない	無回答
全体		1,271	46.9	26.4	20.8	20.1	18.5	18.3	16.8	13.1	5.8	5.1	2.8	11.9	5.4
性別	男性	536	48.7	25.6	20.0	20.3	15.1	15.3	10.8	13.6	3.2	3.0	3.4	14.0	6.0
	女性	699	46.5	27.6	21.9	20.2	20.9	20.6	21.0	12.9	7.6	6.7	2.4	10.4	4.4
年代別	10代	17	35.3	11.8	47.1	11.8	17.6	17.6	17.6	47.1	0.0	5.9	0.0	11.8	0.0
	20代	91	54.9	16.5	27.5	12.1	17.6	25.3	11.0	17.6	11.0	4.4	4.4	11.0	1.1
	30代	108	62.0	21.3	38.9	19.4	13.0	20.4	14.8	18.5	14.8	3.7	5.6	4.6	1.9
	40代	157	51.6	19.7	28.0	21.0	16.6	20.4	18.5	10.8	7.0	10.2	2.5	10.2	0.6
	50代	238	50.4	25.2	15.1	23.1	20.2	20.6	20.6	13.0	6.7	4.2	4.6	10.5	1.3
	60代	215	41.4	30.7	18.1	22.8	19.1	18.6	20.5	12.6	5.1	4.7	0.5	14.0	4.2
	70代以上	431	42.0	31.1	15.8	19.5	19.7	14.2	14.4	10.7	2.1	4.4	2.1	14.2	11.6
行政区別	葵区	403	44.4	27.8	23.1	24.6	17.9	15.9	16.9	13.6	6.0	3.7	3.2	9.9	5.7
	駿河区	350	49.1	22.9	17.7	17.7	21.7	18.3	16.3	14.6	4.6	6.3	1.4	12.9	4.3
	清水区	503	48.3	27.8	20.9	18.3	16.9	20.3	17.5	11.7	6.4	5.6	3.4	12.7	5.4

性別で見ると、「がん検診の受診機会の拡大(夜間・休日に受診できる)」は男性48.7%、女性46.5%となっています。「がんに関する相談窓口の利用促進」は男性25.6%、女性27.6%となっています。「学校におけるがん教育」は男性20.0%、女性21.9%となっています。

年代別で見ると、「がん検診の受診機会の拡大(夜間・休日に受診できる)」は30代62.0%、20代54.9%、40代51.6%の順になっています。「がんに関する相談窓口の利用促進」は70代以上31.1%、60代30.7%、50代25.2%の順になっています。

行政区別で見ると、「がん検診の受診機会の拡大(夜間・休日に受診できる)」は駿河区49.1%、清水区48.3%、葵区44.4%の順になっています。「がんに関する相談窓口の利用促進」は葵区、清水区27.8%、駿河区22.9%の順になっています。